



国際ロータリー第 2690 地区

**次期クラブロータリー財団委員長研修会
地区補助金管理セミナー**

日 時 : 2015年12月13日(日)
12:30 ~ 15:00

会 場 : 米子全日空ホテル

主 催 : 国際ロータリー第2690地区
地区ガバナーエレクト 庄司 尚史

国際ロータリー第 2690 地区
次期クラブロータリー財団委員長研修会・地区補助金管理セミナー
プログラム

日時：2015 年 12 月 13 日（日）12:30～15:00

会場：米子全日空ホテル（飛鳥の間）

司会：次期地区副代表幹事 北國 恵久

登録・受付

開会・点鐘 地区ガバナーエレクト 庄司 尚史

ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱 ソングリーダー 瀬戸 良三

地区役員紹介 次期地区代表幹事 岡空 晴夫

地区ガバナーエレクトあいさつ 地区ガバナーエレクト 庄司 尚史

次期地区研修リーダーあいさつ 次期地区研修リーダー 伊藤 文利

講演 「地域へのプレゼントになろう」
地区ロータリー財団委員長 伊藤 文利

奉仕プロジェクト事例発表
「楽しいクラブ作り、地区補助金は活力の源」
倉敷東ロータリークラブ 元会長 遠藤 堯之

地区補助金管理セミナー
① 2015-16 年度地区補助金プロジェクト
地区補助金小委員会委員長 藤田 成美

② 2016-17 年度地区補助金プロジェクト（実施に向けて）
次期地区補助金小委員会委員長 小林 哲

講評 地区ガバナー 佐藤 芳郎

閉会・点鐘 地区ガバナーエレクト 庄司 尚史

地区役員出席者名簿

地区ガバナー	佐藤 芳郎
地区ガバナーエレクト	庄司 尚史
地区ガバナーノミニー	池上 正
地区ロータリー財団委員長アドバイザー	鳥居 滋
地区ロータリー財団委員長・次期地区研修リーダー	伊藤 文利
第1グループ次期ガバナー補佐	田中 章夫
第2グループ次期ガバナー補佐	片山 良孝
第3グループ次期ガバナー補佐	石倉 貞昭
第4グループ次期ガバナー補佐	渡部 孝
第5グループ次期ガバナー補佐	岡崎 政助
第6グループ次期ガバナー補佐	西村 誠
第7グループ次期ガバナー補佐	佐々木孝之
第8グループ次期ガバナー補佐	山本 俊彦
第9グループ次期ガバナー補佐	岩本 一壽
第10グループ次期ガバナー補佐	下山 宏昭
第11グループ次期ガバナー補佐	奥村 二郎
地区代表幹事	塚本 博視
次々期地区代表幹事	廣本 孝良
地区補助金小委員会委員長	藤田 成美
次期地区補助金小委員会委員長	小林 哲
地区補助金小委員会委員	田儀 政司
地区補助金小委員会委員	神崎 信輔
地区補助金小委員会委員	中村 公彦
地区補助金小委員会委員	小林 健治
地区補助金小委員会委員	大屋 明宏
地区学友小委員会副委員長	柏木 晴夫
職業研修チーム小委員会副委員長	中田 耕治
資金推進小委員会副委員長	八木橋柳一
ポリオプラス小委員会副委員長	細田 淑人
次期地区代表幹事	岡空 晴夫
次期地区副代表幹事	北國 恵久
次期地区庶務幹事	門永 武志
次期地区庶務幹事	市場 和志

講演「地域へのプレゼントになろう」

地区ロータリー財団委員長 伊藤 文利



ロータリー発展のための 戦略計画 ～財団を通して～

国際ロータリー第2690地区
地区ロータリー財団委員長
伊藤文利



2015年12月13日、米子全日空ホテル

三大優先事項

戦略的目標



戦略計画

私たちは責任あるリーダーとして、世界の切実な課題を
解決するために行動します



『未来の夢計画』の目的

- ・ プログラムと運営の簡素化
- ・ グローバルな成果を期待
- ・ 地元と海外の活動を支援
- ・ ロータリー財団が自分たちのものであると
いう自覚を高めること
- ・ ロータリーの公共イメージの向上

「行 善 天 下」

2015-16年度 財団管理委員長優先項目

管理委員長 レイ・クリングスミス

1. 永久にポリオを撲滅する
2. R財団への知識、参加、寄付の向上
ロータリアンの手で
3. ロータリーの人道的奉仕の質の向上
地区補助金およびグローバル補助金で
4. R財団の100年の成果でイメージを高め
「世界でよいこと」をしてきた100年の歴史で
ポリオブラスの成果などで

- 認証の種類 -

個人に対する認証

認 証	寄 付	年次基金寄付	使途指定寄付	恒久基金寄付	遺贈友の会
財団の友	(現金) 毎年100ドル以上				
ポール・ハリス・ソサエティ	(現金) 毎年1,000ドル以上				
ポール・ハリス・フェロー	(現金+認証ポイント) 累計1,000ドル以上				
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	(現金+認証ポイント) 累計2,000ドル以上から累計9,000ドル以上まで 1,000ドル毎に8段階				
ベネファクター				(現金) 1,000ドル以上	
大口寄付者 (メジャー・ドナー)	(現金) 累計10,000ドル以上 (レベル1からレベル7まで)				
アーチ・クラフ・ソサエティ	(現金) 累計250,000ドル以上 (管理委員会サークル・管理委員長サークル・財団サークル、管理委員会プラチナサークル、 管理委員長プラチナサークル、財団プラチナサークルの6つのレベル)				
大口寄付者 (遺贈の寄付)					遺贈10,000ドル以上 レベル1からレベル10まで)

2014-15年度 各クラブ 年次基金寄付額

G	クラブ名	会員数 (2014/7/1)	年次基金寄付 1人当たり額	年次基金寄付
1	智 頭	12	8.33	100.00
	倉 吉	56	150.28	8,415.54
	倉 吉 中央	22	31.00	682.00
	倉 吉 東	40	114.93	4,597.08
	鳥 取	62	150.00	9,300.19
	鳥 取 中央	35	118.33	4,141.51
	鳥 取 北	50	67.43	3,371.73
	鳥 取 西	48	157.98	7,583.16
2	境 港	44	154.21	6,785.10
	米 子	65	129.07	8,389.83
	米 子 中央	36	58.70	2,113.22
	米 子 東	85	92.64	7,874.67
	米 子 南	57	109.10	6,218.89
3	松 江	66	139.10	9,180.38
	松 江 東	59	135.59	8,000.00
	松 江 南	64	157.46	10,077.40
	松江しんじ湖	65	31.54	2,050.00
	隠 岐 西 郷	21	7.93	166.47
4	平 田	44	139.15	6,122.77
	出 雲	47	153.90	7,233.19
	出 雲 中央	45	157.91	7,106.00
	出 雲 南	63	182.55	11,500.55
	大 社	47	122.55	5,760.00

G	クラブ名	会員数 (2014/7/1)	年次基金寄付 1人当たり額	年次基金寄付
5	江 津	32	250.07	8,002.30
	浜 田	59	153.83	9,076.00
	益 田	18	192.48	3,464.71
	益 田 西	31	172.58	5,349.95
	大 田	27	158.69	4,284.75
	井 原	42	207.14	8,700.00
6	笠 岡	51	186.13	9,492.40
	笠 岡 東	38	190.32	7,231.98
	新 見	25	152.00	3,800.00
	総 社	36	122.03	4,393.02
	総社吉備路	32	185.94	5,950.00
	高 梁	43	115.82	4,980.39
7	玉 島	27	148.15	4,000.00
	児 島	30	138.50	4,155.00
	児 島 東	18	171.83	3,092.89
	倉 敷	88	171.63	15,103.55
	倉 敷 中央	13	164.80	2,142.37
	倉 敷 東	39	150.29	5,861.31
8	倉 敷 南	60	334.74	20,084.51
	倉 敷 水 島	21	230.01	4,830.20
	倉敷瀬戸内	37	150.00	5,550.00
	真 庭	37	153.19	5,668.00
	美 作	36	161.39	5,810.00
	津 山	90	150.52	13,546.80
9	津 山 中央	24	137.79	3,306.91
	津 山 西	29	171.39	4,970.24

G	クラブ名	会員数 (2014/7/1)	年次基金寄付 1人当たり額	年次基金寄付
9	赤 磐	17	94.22	1,601.81
	備 前	60	96.67	5,800.00
	岡 山	107	133.73	14,308.65
	岡 山 東	92	183.95	16,923.72
	岡 山 北 西	56	152.44	8,536.65
	岡山後楽園	52	157.69	8,200.00
10	岡山旭川	25	92.00	2,300.00
	岡山中央	38	157.89	6,000.00
	岡山北	40	72.48	2,899.14
	岡山南	154	206.64	31,822.46
	玉 野	35	151.69	5,309.19
	牛 窓	5	150.00	750.00
11	岡山備南	31	124.68	3,865.00
	岡 山 城	26	150.00	3,900.00
	岡山岡南	35	142.40	4,983.83
	岡山丸の内	38	130.74	4,968.24
	岡 山 西	69	99.58	6,871.18
	岡山西南	58	299.56	17,374.19
地区合計		3,054	144.59	456,031.02

2015-16年度 寄付状況

	年次基金	ポリオプラス	その他の基金	恒久基金
日本	\$2,195,691	\$315,722	\$45,100	\$311,743
世界	\$21,020,499	\$3,332,379	\$3,743,518	\$4,229,116

2015年9月末現在

2015-16年度 寄付総額 世界上位3ヶ国

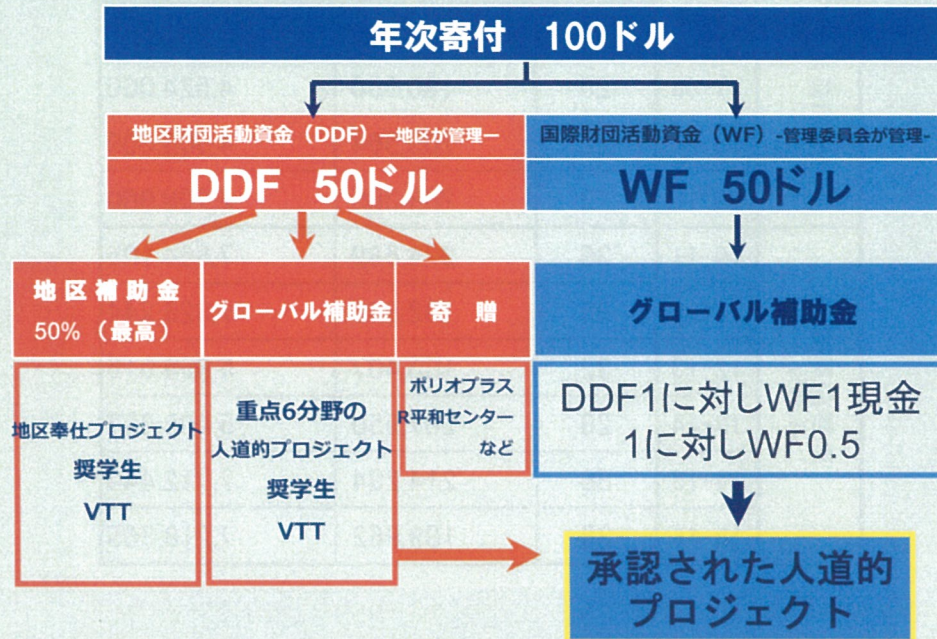
アメリカ	\$13,377,178
韓国	\$5,949,192
日本	\$3,186,537

2015年10月20日現在

【野生株によるポリオ症例数】

ポリオ	国	2015年1月1日 ～10月21日	2014年 (通年)
常 在 国	パキスタン	38	306
	アフガニスタン	13	28
常在国 以 外	ナイジェリア	0	6
	赤道ギニア	0	5
	イラク	0	2
	カメルーン	0	5
	シリア	0	1
	エチオピア	0	1
	ソマリア	0	5
	世界合計	51	359

奉仕活動資金の配分



RI第2690地区 シェアシステムDDF配分表 ー申請時の予算ー

◇第2690地区のDDF額（日本円の換算は参考数値）		¥100		¥102		¥124	
収入		2013-14年度 ドル/円		2014-15年度 ドル/円		2015-16年度 ドル/円	
単年度分	3年前の年次寄付実績額の50%	240,444.28	24,044,428	255,051.14	26,015,216	249,547.02	30,943,830
	恒久基金収益の50%	16,276.45	1,627,645	18,206.32	1,857,045	19,700.37	2,442,846
	【合計】①	256,720.73	25,672,073	273,257.46	27,872,261	269,247.39	33,386,676
繰越分	前年度のDDF残額	119,741.66	11,974,166	132,873.84	13,553,132	149,882.82	18,585,470
	DDFへの返金、移行、各寄贈等により、プラス、マイナス計算で算出された額 (補助金残額返金など)	1,939.45	193,945	2,844.52	290,141	24,939.50	3,092,498
	【合計】②	121,681.11	12,168,111	135,718.36	13,843,273	174,822.32	21,677,968
DDF合計額 (①+②)		③	378,401.84	37,840,184	408,975.82	41,715,534	444,069.71
支出		2013-14年度		2014-15年度		2015-16年度	
地区補助金							
・奨学生1		26,000.00	2,600,000	22,000.00	2,244,000	18,425.00	2,284,700
・奨学生2		24,000.00	2,400,000	-	-	19,355.00	2,400,020
・クラブ提唱 奉仕プロジェクト		54,070.00	5,407,000	75,632.00	7,714,464	58,231.00	7,220,644
・地区提唱 奉仕プロジェクト(緊急災害支援用)		18,458.00	1,845,800	18,031.00	1,839,162	-	-
・臨時費		-	-	17,000.00	1,734,000	26,775.00	3,320,100
・補助金の実施に必要な管理運営費(銀行手数料、郵便切手)		3,000.00	300,000	3,000.00	306,000	4,016.00	497,984
・奨学生オリエンテーション会場費・印刷費		-	-	-	-	500.00	62,000
・補助金管理セミナー会場費・印刷費		-	-	-	-	6,574.00	815,176
【合計】④		125,528.00	12,552,800	135,663.00	13,837,626	133,876.00	16,600,624
地区補助金申請 限度額 (①×1/2)		128,360.37	12,836,037	136,628.73	13,936,130	☆134,623.70	16,693,338
グローバル補助金							
ネパール識字プロジェクト(2014年度-) 岡山東RC		-	-	1,000.00	102,000	-	-
タイ透析機器寄贈プロジェクト(2014年度) 倉吉RC		-	-	1,000.00	102,000	-	-
トルコ新生児のための医療機器の寄贈(2014年度) 児島RC		-	-	1,430.00	145,860	-	-
DDF寄贈							
・ポリオプラスへの寄贈		70,000.00	7,140,000	70,000.00	7,140,000	-	-
・世界平和フェローシップへの寄贈		50,000.00	5,100,000	50,000.00	5,100,000	-	-
【合計】⑤		120,000.00	12,240,000	123,430.00	12,589,860	0.00	0
グローバル補助金/DDF寄贈 配分可能額 (③-④)		252,873.84	25,287,384	273,312.82	27,877,908	310,193.71	38,464,020
DDF支出合計額 (④+⑤)		⑥	245,528.00	24,792,800	259,093.00	26,427,486	133,876.00
単年度 DDF残額 (①-⑥)		11,192.73	879,273	14,164.46	1,444,775	135,371.39	16,786,052
年度末 DDF残額 (③-⑥)		132,873.84	13,047,384	149,882.82	15,288,048	310,193.71	38,464,020

☆2015.10使用可能な収益の加算により
地区補助金申請時の限度額とは異なる

第2690地区 地区補助金 申請件数と金額の推移

年度 実績		件数	承認金額 1件あたり金額(円)	クラブ提唱プロジェクト 補助金合計額(円)
地区 (旧 補助金)	07-08	25	180,960	4,524,000
	08-09	22	209,364	4,606,000
	09-10	13	208,385	2,709,000
地区 (新 補助金)	10-11	35	224,689	7,864,105
	11-12	38	192,849	7,328,244
	12-13	32	183,407	5,869,015
	13-14	26	207,950	5,406,697
	14-15	36	214,234	7,712,440
	15-16	38	189,962	7,218,565

2013-2016年度 地区補助金企画別件数

年度 企画	2013-14年度 森本G	2014-15年度 松本G	2015-16年度 佐藤G
1. 物品等贈与	5	10	14
2. 環境保全	8	4	4
3. 体験学習	3	6	6
4. 講演会・公演 コンサート等	2	2	2
5. 被災者支援・ 防災	2	5	2
6. スポーツ 教室・大会等	3	3	1
7. その他	3	6	9
合 計	26	36	38

第2690地区 地区補助金活用状況実績一覧

G	クラブ名	年 度						申請数	会員数
		10-11	11-12	12-13	13-14	14-15	15-16		
1	智 頭							0	10
	倉 吉		○	○	○		○	4	57
	倉吉中央					○		1	23
	倉吉東		○				○	2	43
	鳥 取	△			○	○	○	4	58
	鳥取中央	○		○			○	3	39
	鳥取北				○			1	49
	鳥取西						○	1	48
2	境 港		○	○		○	○	4	41
	米 子	○	○	○	○	○		5	65
	米子中央		×		○	○	○	3	39
	米子東	○	○	○	○	○	○	6	100
	米子南					×	○	1	59
3	松 江			○				1	64
	松江東	○		○			○	3	62
	松江南	○				○		2	65
	松江しんじ湖	○	○					2	56
	隠岐西郷		○					1	23
4	平 田		×	○			○	2	45
	出 雲	○	○					2	48
	出雲中央				○	○	○	3	46
	出雲南	○	○	○	○	○	○	6	64
	大 社			○		○	○	3	47

G	クラブ名	年 度						申請数	会員数
		10-11	11-12	12-13	13-14	14-15	15-16		
5	江 津	○	○			○	○	4	37
	浜 田				○		○	2	55
	益 田	○	○	○	○		○	5	18
	益田西	○		○	○	○	○	5	28
	大 田			○		○		2	30
	井 原	○	○	○	○	○	○	6	41
	笠 岡		○					1	50
	笠岡東	○		○				2	39
6	新 見		○	○	○		○	4	24
	総 社				○		○	2	35
	総社吉備路	○	○			○	×	3	32
	高 梁	○	○					2	43
	玉 島		○			○	○	3	26
	児 島		○			○		2	27
	児島東						○	1	20
	倉 敷	○	○			○		3	86
7	倉敷中央			○		○		2	13
	倉敷東	○	○	○	○	○	○	6	38
	倉敷南	○	○	○	○	○	○	6	53
	倉敷水島	○	○	○	○	○	○	6	20
	倉敷瀬戸内	○		○			○	3	39
	真 庭	○	○	○	○	○	○	6	35
	美 作	○	○	○	○			4	34
	津 山		○	○	○	○	○	5	87
8	津山中央	○		○	○	○	○	5	25
	津山西		○			○		2	32

G	クラブ名	年 度						申請数	会員数
		10-11	11-12	12-13	13-14	14-15	15-16		
9	赤 磐		○					1	12
	備 前						○	1	57
	岡 山	○						1	106
	岡山東	○	○	○	○	○	○	6	96
	岡山北西	○	○	○	○	○	○	6	54
	岡山後楽園	○	○			○		3	52
	岡山旭川	△	△				○	3	24
	岡山中央	○				○	○	3	38
10	岡山北	○	○	○	○	○		5	36
	岡山南	○	○	○		○	○	5	155
	玉 野		○		○		○	3	35
	牛 窓							0	5
	岡山備南	○				○		2	33
11	岡 山 城		○	○			○	3	24
	岡山岡南	○	○	○				3	29
	岡山丸の内	○		○		○		3	41
	岡 山 西		○			△		2	69
	岡山西南	○	○			○	○	4	57
申請プロジェクト数		35	38	32	26	36	38		
△...申請⇒中止		2	1			1			
×...申請断念/取止め			2			1	1		

※1 ※申請回数は、中止も含む（申請断念/取止めは含まない）

※1...10-11年度に岡山RC・岡山後楽園RC・真庭RCが共同PJ実施

真庭RCは10-11年度に単独プロジェクトも実施

*会員数は2015.7.1現在

三大優先事項

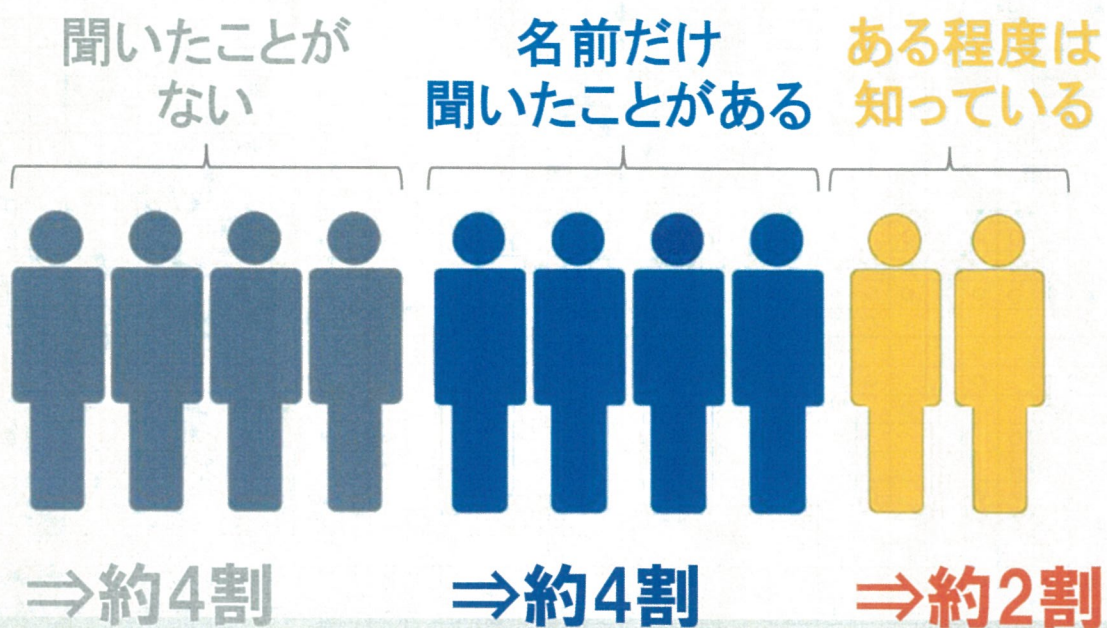
戦略的目標



戦略計画

私たちは責任あるリーダーとして、世界の切実な課題を
解決するために行動します

ロータリーについて 調査でわかったこと



結果2

ロータリーは人々が望んでいる
ものを提供している、しかし、
そのことを伝えていない

何故RIが公共イメージと認知度の向上に力を入れているか？

ロータリーが社会に正しく認識されていない
課題に直面



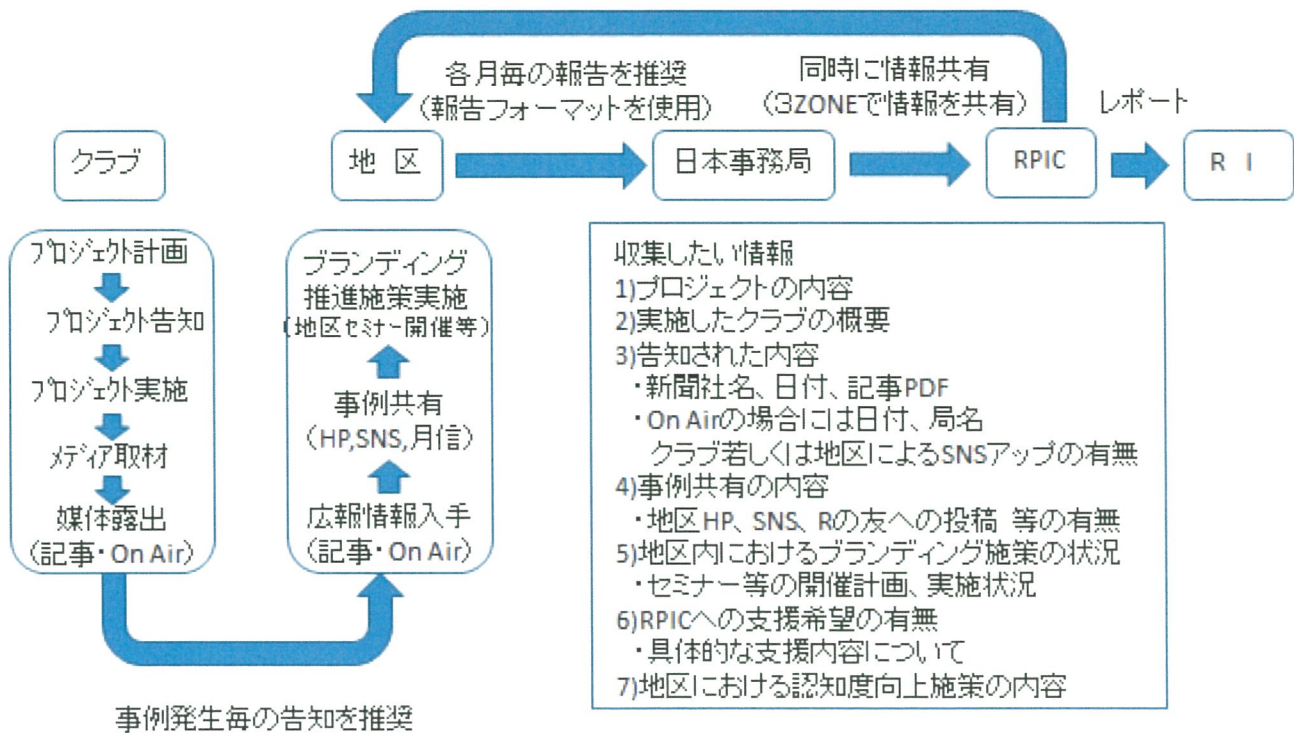
情報開示の時代、ロータリーの正しい、ありのままの
情報を社会に伝える方法を考え直す必要性



分かりやすい、形が見えるロータリーをめざす



事例の共有(Exchange Ideas)
⇒コーディネーターニュース or 新たな媒体で紹介(web等活用)



戦略計画が目指すロータリーの姿



奉仕プロジェクト事例発表

「楽しいクラブ作り、
地区補助金は活力の源」

倉敷東ロータリークラブ 遠藤 堯之

秀英附帯イミエと口で出来

リサでそやハナ

し藤のい張村金部藤三郎

女表 野田 七ツツミとウツ東屋

倉敷東ロータリークラブ (新)地区補助金プロジェクト 実施状況

年度	プロジェクト名	受益者	プロジェクト総額 補助金使用額 円	地域のニーズ(奉仕の必要性) 支援先の状況	知名度と公共イメージ向上 (広報活動)
2010-11	倉敷市立中庄幼稚園 への教育機具、遊具の 寄贈	倉敷市立 中庄幼稚園 幼稚園児	273,600 133,000	幼児教育機器、遊具等が陳腐化し更新したいが予算が 無くて困っていた。	倉敷ケーブルTVニュース 9/10,11「KTCフイド」6回 FMくらしき9/17タイムトラベル
2011-12	「岡山いのちの電話協 会」へ電話相談員教育 研修用デジタルTV機器 の寄贈と「いのちの電 話倉敷市民公開講座」 の開催	岡山「いのちの電話」 相談者および「倉敷 市民講座」受講者 (青少年を含む) 約150名	283,070 141,535	7/1のTVアナログ放送終了により、電話相談員養成教育 に使っている大型テレビが使えなくなるので更新が必要と なり、県に補助を依頼したが却下され困っていた。また、 自殺防止を目的とする市民公開講座を年4回岡山で開い ているが、予算と運営の関係で倉敷方面では一度も開い ていない。(ちなみに、電話相談員の3分の1は、倉敷方面 居住の人である。)	倉敷ケーブルTV 生涯学習講座で全放映 10/7,14,21,28午前 計4回 山陽新聞 9/14 ロータリー名入りの「市民 公開講座」のビラ配布
2012-13	知的障害者援護施設瀬 戸内学園へ感染症対策 の空気清浄器寄贈と保 護者のための「成年後 見人制度」講演会と相談 会開催(一般公開)	瀬戸内学園利用者 120名(知的障害者) とその家族、職員、 関係地域住民	341,619 170,801	ノロウイルスによる感染症が流行っており、知的障害者援 護施設における感染症予防対策が急務となっていた。ま た、入所者の保護者から、知的障害者のために有用な 「成年後見人制度」について、専門家を呼んで講演会と相 談会をして欲しいとの要望がある。施設ではこれを地域交 流事業として市民公開講演会にしたいと希望。	倉敷ケーブルTV (取材あれど放映されず) 瀬戸内学園広報誌 2回 (近隣町内会配布)
2013-14	地元小学校4年生153 名を対象とした「環境学 習と清掃奉仕活動」(環 境保全活動用品の寄 贈)	公益財団法人倉敷 スポーツ公園および 市立中庄小学校生徒 (小学4年生)153名 と職員	395,591 184,500	中庄小学校では地域にある倉敷スポーツ公園でボラン ティアで清掃活動をしてきたが、これを環境学習として有 意義なものにしたいと考えていた。また、岡山県産業廃棄 物協会青年部は、環境教育で社会に貢献したいと考えて いた。このふたつのニーズを取り結び会員も汗をかい て小学生の清掃活動に参加することは環境問題にも取り組 んできた当クラブの活動方針と一致する。	倉敷ケーブルTVニュース 10/18午後5時より毎時 山陽新聞 10/18
2014-15	社会福祉法人倉敷ふじ 園生徒を対象とした自 立就労移行支援の手 伝い(実務作業訓練版 セットの寄贈)	社会福祉法人 ふじ園の生徒	354,790 168,625	支援学校生徒の雇用促進を目的に自立訓練就業支援を 行っているふじ園では、新しい職種の作業の疑似体験が できる新ソフトの導入が急務だった。当クラブでこれを支 援し、このソフトを使って会員も作業を体験し、会員それぞ れの業種で支援学校生徒の雇用ができるか検討すること にした。	倉敷ケーブルTVニュース 10/24午後5時より毎時 山陽新聞 10/24
2015-16	大規模災害時に対処で きる若年リーダーの育 成指導(災害時に備え るテント等の寄贈)	倉敷ボーイスカウト 倉敷ガールスカウト その保護者 一般市民	303,604 137,838	近い将来想定される東南海トラフ災害に備え、若年リー ダーを育てることが急務となっている。倉敷消防署の協力 を得て、日常集団の中で訓練を積んでいるボーイスカウト ガールスカウトに災害時対処の指導を行う。その保護者 に当クラブ会員も一緒に、災害対処の指導を受ける。	倉敷ケーブルTVニュース 9/6午後5時より毎時 山陽新聞 9/8

2011-12年度 新地区補助金プロジェクト候補検討について

理事会への答申資料：2011年2月24日作成「ビジョン委員会」

会員からの提案プロジェクト(3件)		会員からの提案プロジェクト(3件)		会員からの提案プロジェクト(3件)	
プロジェクトの概要 (詳細資料:別紙)	社団法人いのちの電話協会にTVデジタル化で買い替えが必要となつた大型テレビ(電話相談員研修用)を寄贈する。(自殺防止対策で開催予定の市民公開講座の倉敷開催を提案し、援助する。)	NPO法人倉敷町家トラスト「N亭」にトイレを寄贈する。 (簡易ウォッシュレットの設置)	倉敷市立粒江小学校にビオトープを設置し、環境教育を支援する。(絶滅危惧種のゼニタナゴの保育育成繁殖を行う。設備作成、教育指導は、「NPO倉敷水辺の環境を考える会」に依頼) 寄贈採納先は、倉敷市教育委員会	総額 補助金申請額 自己資金	50万円 24万円 26万円
プロジェクトの必要資金	総額 補助金申請額 自己資金	25万円 12万円 13万円	総額 補助金申請額 自己資金	50万円 24万円 26万円	
「地区申し合わせルール」と「対象プロジェクトの適合資格」	総額 補助金申請額 自己資金	40万円 19万円 21万円	NPO法人倉敷町家トラスト「N亭」にトイレを寄贈する。 (簡易ウォッシュレットの設置)	倉敷市立粒江小学校にビオトープを設置し、環境教育を支援する。(絶滅危惧種のゼニタナゴの保育育成繁殖を行う。設備作成、教育指導は、「NPO倉敷水辺の環境を考える会」に依頼) 寄贈採納先は、倉敷市教育委員会	
1、1プロジェクト総額20万円以上の	総額 補助金申請額 自己資金	40万円 19万円 21万円	NPO法人倉敷町家トラスト「N亭」にトイレを寄贈する。 (簡易ウォッシュレットの設置)	倉敷市立粒江小学校にビオトープを設置し、環境教育を支援する。(絶滅危惧種のゼニタナゴの保育育成繁殖を行う。設備作成、教育指導は、「NPO倉敷水辺の環境を考える会」に依頼) 寄贈採納先は、倉敷市教育委員会	
①人道的プロジェクト	総額 補助金申請額 自己資金	40万円 19万円 21万円	NPO法人倉敷町家トラスト「N亭」にトイレを寄贈する。 (簡易ウォッシュレットの設置)	倉敷市立粒江小学校にビオトープを設置し、環境教育を支援する。(絶滅危惧種のゼニタナゴの保育育成繁殖を行う。設備作成、教育指導は、「NPO倉敷水辺の環境を考える会」に依頼) 寄贈採納先は、倉敷市教育委員会	
②教育的プロジェクト	総額 補助金申請額 自己資金	40万円 19万円 21万円	NPO法人倉敷町家トラスト「N亭」にトイレを寄贈する。 (簡易ウォッシュレットの設置)	倉敷市立粒江小学校にビオトープを設置し、環境教育を支援する。(絶滅危惧種のゼニタナゴの保育育成繁殖を行う。設備作成、教育指導は、「NPO倉敷水辺の環境を考える会」に依頼) 寄贈採納先は、倉敷市教育委員会	
③環境保全プロジェクト	総額 補助金申請額 自己資金	40万円 19万円 21万円	NPO法人倉敷町家トラスト「N亭」にトイレを寄贈する。 (簡易ウォッシュレットの設置)	倉敷市立粒江小学校にビオトープを設置し、環境教育を支援する。(絶滅危惧種のゼニタナゴの保育育成繁殖を行う。設備作成、教育指導は、「NPO倉敷水辺の環境を考える会」に依頼) 寄贈採納先は、倉敷市教育委員会	
④青少年育成指導プロジェクト	総額 補助金申請額 自己資金	40万円 19万円 21万円	NPO法人倉敷町家トラスト「N亭」にトイレを寄贈する。 (簡易ウォッシュレットの設置)	倉敷市立粒江小学校にビオトープを設置し、環境教育を支援する。(絶滅危惧種のゼニタナゴの保育育成繁殖を行う。設備作成、教育指導は、「NPO倉敷水辺の環境を考える会」に依頼) 寄贈採納先は、倉敷市教育委員会	
2、地区内実施プロジェクトとすること	総額 補助金申請額 自己資金	40万円 19万円 21万円	NPO法人倉敷町家トラスト「N亭」にトイレを寄贈する。 (簡易ウォッシュレットの設置)	倉敷市立粒江小学校にビオトープを設置し、環境教育を支援する。(絶滅危惧種のゼニタナゴの保育育成繁殖を行う。設備作成、教育指導は、「NPO倉敷水辺の環境を考える会」に依頼) 寄贈採納先は、倉敷市教育委員会	
3、会員が積極的に汗を流すこと等)が、明確に示せるプロジェクトとする	総額 補助金申請額 自己資金	40万円 19万円 21万円	NPO法人倉敷町家トラスト「N亭」にトイレを寄贈する。 (簡易ウォッシュレットの設置)	倉敷市立粒江小学校にビオトープを設置し、環境教育を支援する。(絶滅危惧種のゼニタナゴの保育育成繁殖を行う。設備作成、教育指導は、「NPO倉敷水辺の環境を考える会」に依頼) 寄贈採納先は、倉敷市教育委員会	
検討結果	当初△→(○) (倉敷で市民公開講座が開催できるかどうか つかめることが必要)	2月12日よりこのプロジェクトを本命として岡山いのちの電話協会と具体的に折衝を開始した。 (補助金受領団体の理事等にロータリー関係者がいるケースなので、申請書にあらためてこの事実を記載し「利害対立の可能性の開示」が必要。問題ないことを確認。)	物品だけの寄付に終わる可能性が高いので、候補からははずす。	第一候補としてNPOと折衝。NPOは計画案を作り、倉敷市環境政策課及び環境省の内諾まで得ていたが2月9日にNPO代表に不幸が発生。当面NPO活動の休止を余儀なくされ、プロジェクト申請締切までに対応が出来ないとNPO代表から辞退の申し入れがあったので、候補からははずす。 (当該学区で蜚復活の活動をしている会員があり、このプロジェクトの支援申し出)	

⑨「ビジョン委員会」：2010年11月1日理事会決定で発足。審議時間の限られた「理事会」では結論を出すことが困難な案件について、十分に時間をかけて研究し、理事会への答申案をまとめるのが当委員会の任務。会長エレクトが当委員会の議長として運営を担う。メンバーは、会長、会長エレクト、幹事、次期幹事、会長ノミニ、会長幹事経験者1名、会長幹事未経験者1名の合計7名。

地区補助金管理セミナー

① 2015-16 年度地区補助金プロジェクト

地区補助金小委員会委員長 藤田 成美

一七五五 新刊金瓶梅詞話

一七五五 新刊金瓶梅詞話 卷一 ①

新刊金瓶梅詞話 卷一 ①



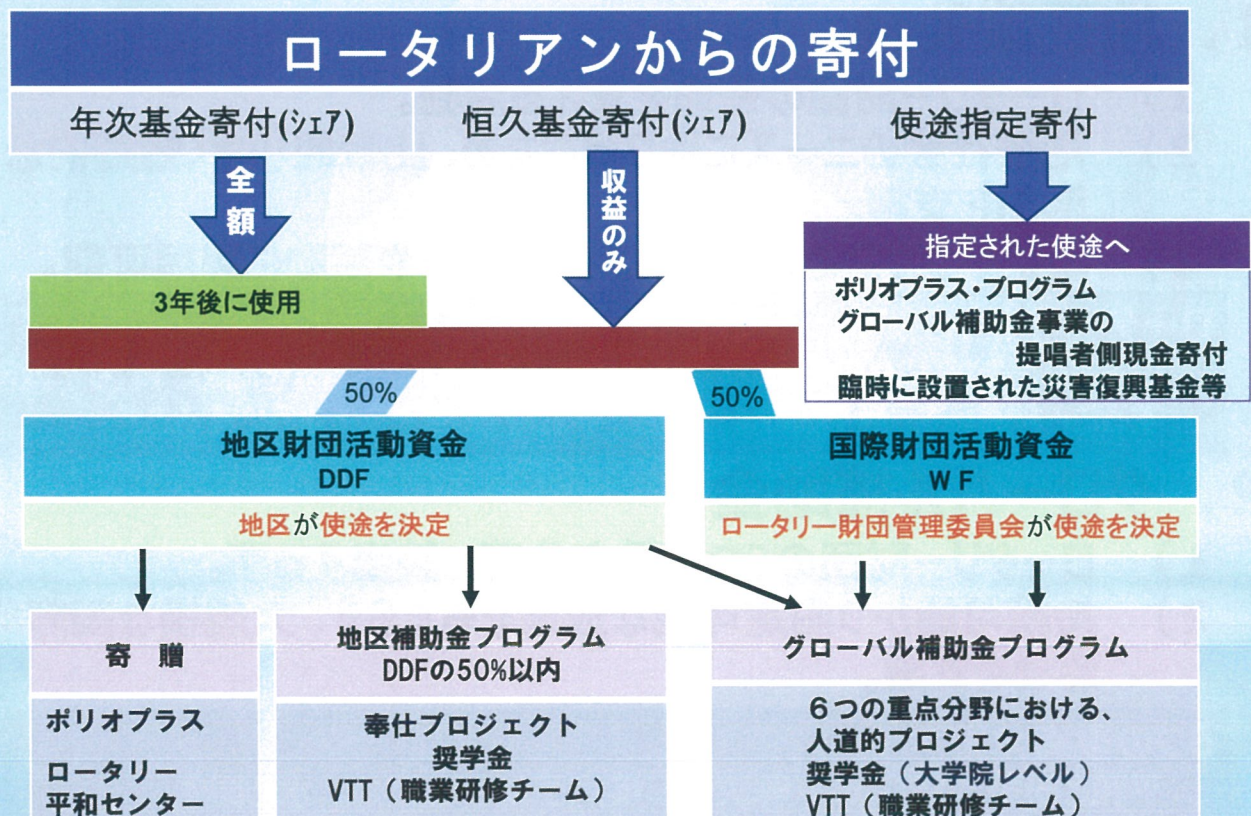
次期クラブ地区ロータリー財団委員長研修会・ 地区補助金管理セミナー

国際ロータリー第2690地区

2015-16年度 地区補助金小委員会委員長

岡山南ロータリークラブ 藤田 成美

シェアシステムによる財団資金の活用



ロータリーカードによる寄付

ロータリーカードのご利用により、ポリオ撲滅活動を支援していただくことができます。

		ビジネス 	ゴールド 	スタンダード 
カードショッピング での寄付	寄付金額	ご利用金額の0.5%	ご利用金額の0.3%	
	目 的	ポリオ撲滅のための資金		
	手 続 き	自動(手続き不要)		
	そ の 他	個人・クラブの年次基金には加算されません。 毎月のご利用金額に応じて翌月計上されます。		
年会費 での寄付	寄付金額	カード1枚当たり1,500円	カード1枚当たり3,000円	対 象 外 (年会費無料)
	目 的	ポリオ撲滅のための資金		
	手 続 き	自動(手続き不要)		
	そ の 他	個人・クラブの年次基金には加算されません。 毎年1～12月迄の年会費に応じて翌年3月に計上されます。		
ポイント交換 での寄付	寄付金額	対 象 外 (ポイント制度無)	1,000ポイントで5,000円	
	目 的		個人・クラブの年次基金	
	手 続 き		交換手続き要	
	そ の 他		個人・クラブの年次基金として交換® ※	

※ 毎年3月末までに交換申請したものが5月にロータリー財団への寄付となります。(税制上の優遇措置は受けられません。)
4月～6月末までに交換申請されたポイントは次年度計上となります。

ロータリー財団の補助金

1. 地区補助金

- 1) ロータリー財団の使命を支える活動。
- 2) 地域社会のニーズに取り組むため、比較的小さく短期的な活動を支援。
- 3) 地区やクラブの、幅広いプロジェクトや活動に利用可能。

ロータリー財団の使命

ロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること

2. グローバル補助金

- 1) ロータリー財団の6つの重点分野に該当する事。
- 2) 持続可能かつ測定可能な成果をもたらす、大規模な国際的活動を支援。

6つの重点分野

平和と紛争予防／紛争解決 ・ 疾病予防と治療 ・ 水と衛生
母子の健康 ・ 基本的教育と識字率向上 ・ 経済と地域社会の発展

地区財団活動資金の仕組み

1. 当該年度未使用分の地区財団活動資金（DDF）は自動的に次年度のDDFに繰り越される。
2. 次年度に繰り越されたDDFは、グローバル補助金と寄贈に充てることができる。
ただし、地区補助金の金額算出には含まれない。
(地区補助金プロジェクトに使用できない。)
3. グローバル補助金はDDFに対し国際財団活動資金(WF)から同額、現金拠出に対してはWFから半額が上乘せされる。

DDF配分表(スペンディングプラン申請時)

◇第2690地区のDDF額(日本円の換算は参考数値)		¥80		¥80		¥100		¥102		¥124	
収入		2011-12年度 ドル/円		2012-13年度 ドル/円		2013-14年度 ドル/円		2014-15年度 ドル/円		2015-16年度 ドル/円	
単年度分	3年前の年次寄付実績額の50%	251,279.95	20,102,396	250,876.46	20,070,117	240,444.28	24,044,428	255,051.14	26,015,216	249,547.02	30,943,830
	恒久基金収益の50%	12,165.96	973,277	10,612.72	849,018	16,276.45	1,627,645	18,206.32	1,857,045	19,700.37	2,442,846
	【合計】①	263,445.91	21,075,673	261,489.18	20,919,134	256,720.73	25,672,073	273,257.46	27,872,261	269,247.39	33,386,676
繰越分	前年度のDDF残額	116,132.64	9,290,611	68,762.55	5,501,004	119,741.66	11,974,166	132,873.84	13,553,132	149,882.82	18,585,470
	DDFへの返金、移行、各寄贈等により、プラス、マイナス計算で算出された額	0.00	0	14,927.93	1,194,234	1,939.45	193,945	2,844.52	290,141	24,939.50	3,092,498
	【合計】②	116,132.64	9,290,611	83,690.48	6,695,238	121,681.11	12,168,111	135,718.36	13,843,273	174,822.32	21,677,968
DDF合計額(①+②)		③	379,578.55	345,179.66	27,614,373	378,401.84	37,840,184	408,975.82	41,715,534	444,069.71	55,064,644
支出		2011-12年度		2012-13年度		2013-14年度		2014-15年度		2015-16年度	
地区補助金											
・奨学生1		26,000.00	2,080,000	26,000.00	2,080,000	26,000.00	2,600,000	22,000.00	2,244,000	18,425.00	2,284,700
・奨学生2		—	—	23,000.00	1,840,000	24,000.00	2,400,000	—	—	19,355.00	2,400,020
・クラブ提唱 奉仕プロジェクト		89,398.00	7,151,840	73,367.00	5,869,360	54,070.00	5,407,000	75,632.00	7,714,464	58,231.00	7,220,644
・地区提唱 奉仕プロジェクト(緊急災害支援用)		7,241.00	579,280	1,871.00	149,680	18,458.00	1,845,800	18,031.00	1,839,162	—	—
・臨時費		—	—	—	—	—	—	17,000.00	1,734,000	26,775.00	3,320,100
・補助金の実施に必要なとされる管理運営費(銀行手数料、郵便切手)		3,000.00	240,000	1,200.00	96,000	3,000.00	300,000	3,000.00	306,000	4,016.00	497,984
・奨学生オリエンテーション会場費・印刷費		—	—	—	—	—	—	—	—	500.00	62,000
・補助金管理セミナー会場費・印刷費		—	—	—	—	—	—	—	—	6,574.00	815,176
【合計】④		125,639.00	10,051,120	125,438.00	10,035,040	125,528.00	12,552,800	135,663.00	13,837,626	133,876.00	16,600,624
地区補助金申請 限度額(①×1/2)		131,722.96	10,537,836	130,744.59	10,459,567	128,360.37	12,836,037	136,628.73	13,936,130	※134,623.70	16,693,338
グローバル補助金											
ネパール旗プロジェクト(2014年度) 岡山東RC		—	—	—	—	—	—	1,000.00	102,000	—	—
タイ通訳機器寄贈プロジェクト(2014年度) 倉吉RC		—	—	—	—	—	—	1,000.00	102,000	—	—
トルコ新生児のための医療機器の寄贈(2014年度) 児島RC		—	—	—	—	—	—	1,430.00	145,860	—	—
DDF寄贈											
・ポリオプラスへの寄贈		—	—	50,000.00	4,000,000	70,000.00	7,000,000	70,000.00	7,140,000	—	—
・世界平和フェロシブへの寄贈		50,000.00	4,000,000	50,000.00	4,000,000	50,000.00	5,000,000	50,000.00	5,100,000	—	—
・東日本震災復興基金(地区提唱プロジェクト)への寄贈		※90,854.00	7,450,028	—	—	—	—	—	—	—	—
・東日本震災復興基金(日本委員会)への寄贈		※44,323.00	3,457,194	—	—	—	—	—	—	—	—
【合計】⑤		185,177.00	14,907,222	100,000.00	8,000,000	120,000.00	12,000,000	123,430.00	12,589,860	0.00	0
グローバル補助金/DDF寄贈 配分可能額(③-④)		253,939.55	20,315,164	219,741.66	17,579,333	252,873.84	25,287,384	273,312.82	27,877,908	310,193.71	38,464,020
DDF支出合計額(④+⑤)		⑥	310,816.00	225,438.00	18,035,040	245,528.00	24,552,800	259,093.00	26,427,486	133,876.00	16,600,624
単年度 DDF残額(①-⑥)		-47,370.09	-3,882,669	36,051.18	2,884,094	11,192.73	1,119,273	14,164.46	1,444,775	135,371.39	16,786,052
年度末 DDF残額(③-⑥)		68,762.55	5,407,942	119,741.66	9,579,333	132,873.84	13,287,384	149,882.82	15,288,048	310,193.71	38,464,020

☆ 1ドル82円
★ 1ドル78円

※2015.10使用可能な収益の加算により地区補助金申請時の限度額とは異なる

2015-16年度 地区補助金プロジェクトの申請結果

提唱先	プロジェクト名	プロジェクト概要	申請時の 予算 (ドル)	申請時の 予算 (円)	備 考
クラブ	各クラブ提唱 プロジェクト	各クラブ提唱プロジェクト ※詳細は HP 上『第2690地区 2015-16年度 各クラブ提唱地区補助金プロジェクト の申請結果』参照	\$58,231	7,220,644	38クラブ38プロジェクト申請 ※ 補助金申請金額 7,218,565円 ドル金額は各クラブ申請額 (円) を 切上げて合計
地区	奨学生	2015-16年度地区補助金奨学生 久野愛 2015年7月～2016年6月スウェーデン/ ストックホルム 大学カロリンスカ研究所 にて公衆衛生学専攻 (鳥取RC推薦)	\$18,425	2,284,700	2014-15年度地区補助金にてオリエンテーション 参加のための渡航費 (115,300円) 支出
地区	奨学生	2015-16年度地区補助金奨学生 山本浩貴 2015年7月～2016年6月イギリス/ロンドン 芸術大学トランスナショナルアート研究所 にて芸術専攻 (境港RC推薦)	\$19,355	2,400,020	
地区	奨学生オリエンテーション 会場費・印刷費	奨学生オリエンテーションの会場費 と資料印刷代	\$500	62,000	2016.4 開催予定
地区	補助金管理 セミナー 会場費・印刷代	補助金管理セミナー (次期クラブR財団委員長研修会) の 会場費と資料印刷代	\$6,574	815,176	2015.12 開催
地区	臨時費	災害支援などへの臨時対応のための 予備費	\$26,775	3,320,100	補助金総額の20% (26,775ドル) まで 申請が認められている。
地区	補助金管理運営費	補助金の実施に必要なとされる管理運営費 (銀行手数料、郵便切手代等)	\$4,016	497,984	補助金総額の3% (4,016ドル) まで 申請が認められている。
		地区補助金プロジェクトの費用合計	\$133,876	16,600,624	

2015-16年度 地区補助金申請額の上限額 = 133,876ドル (16,600,624円 : 7月レート 124円)
(3年前の年次寄付実績額の50% (249,547.02ドル) + 恒久基金収益の50% (18,204.98ドル)) × 50%

2015-16年度 クラブ提唱地区補助金プロジェクト一覧①

PJ No.	クラブ名	プロジェクト名	申請時の予算		
			補助金申請額 (円)	補助金申請額 (ドル@124円)	プロジェクト総額 (円)
1	備前	伊勢崎淳氏講演 一土と炎の芸術 備前焼の伝統に学ぶ ～ならびに地元高校生を対象とした備前焼を学ぶプロジェクト	173,430	\$1,399	385,750
2	浜田	親子味覚教室～ゆたかなこころは、ゆたかな味覚から～	126,384	\$1,020	253,668
3	倉敷瀬戸内	児童養護施設の児童・生徒19名を対象とした倉敷物語館・大原美術館・美観地区周辺 ～一日体験プロジェクト	105,231	\$849	217,141
4	新見	中学生に新見の歴史と文化財を学んでもらい、後世に伝え引き継いでもらうプロジェクト	170,000	\$1,371	342,792
5	鳥取	鳥取こども学園園児とのベンチ製作・交流プロジェクト	172,800	\$1,394	348,624
6	玉野	郷土への理解を深めるための歴史人物および地域産業史の事典編集と講演会開催 ～『玉野人物風土記』の出版	360,000	\$2,904	888,752
7	井原	地域を担う子ども達の育成	399,764	\$3,224	837,264
8	児島東	地元の公園への様々なふれあい憩いの為に安心してくつろげる石製ベンチの設置と 小中学生と行う清掃活動	191,000	\$1,541	398,760
9	米子南	地元の山林に、里山保全活動の啓蒙と交流を目的としたベンチを設置するプロジェクト	145,450	\$1,173	290,900
10	境港	電ヶ山 (りゅうがやま) 球場への放送設備寄贈 並びに 学童野球チームと行う清掃活動	122,700	\$990	255,808
11	岡山旭川	アマモ場の再生 ー海と山の小学生の交流を通して環境保全を考えるー	130,000	\$1,049	271,260
12	鳥取西	青少年たちと若桜駅の美観づくり (花壇の植栽整備と若桜杉製ベンチの設置寄贈)	181,000	\$1,460	362,233
13	倉敷水島	障がいのある人との美術によるコミュニケーション<<指導者養成セミナー>>	150,000	\$1,210	316,880
14	米子中央	1日無料相談会	100,000	\$807	229,020
15	益田	春日山山頂 西中国山地眺望案内板設置プロジェクト	100,000	\$807	216,108
16	倉吉東	琴浦町山川地区に於ける桜植樹プロジェクト	122,000	\$984	266,015
17	江津	市民の憩いの場の桜植樹事業	145,000	\$1,170	297,000
18	米子東	吹奏楽クリニック-目指せ!一流アーティスト/超えろ!今の自分-	314,280	\$2,535	641,760
19	大社	出雲大社神門通り 花いっぱいプロジェクト	200,000	\$1,613	410,400

2015-16年度

クラブ提唱地区補助金プロジェクト一覧②

PJ No.	クラブ名	プロジェクト名	申請時の予算		
			補助金申請額 (円)	補助金申請額 (ドル@124円)	プロジェクト総額 (円)
20	松江東	『ウッドジョブとたき火で学ぶ』里山野生塾	176,040	\$1,420	368,223
21	岡山東	外国人学生と岡山の歴史、和（食・文化）に触れる	350,000	\$2,823	818,198
22	総社	総社吉備路文化館への地元住民と行う桜の植樹とベンチの寄贈	350,000	\$2,823	739,800
23	岡山中央	「石井十次記念館と児童養護施設・新天地育児院を訪問して、石井十次先生の足跡を知る研修会と机の寄贈」プロジェクト	146,880	\$1,185	341,880
24	岡山南	日本最古の美和神社を顕彰する看板を整備し、長船町の歴史と伝統的農業・地産地消・食育を学ぶプロジェクト	226,368	\$1,826	454,208
25	玉島	ボランティアリーダー研修—自主防災訓練！—	150,000	\$1,210	306,219
26	倉敷東	大規模災害時に対処できる若年リーダーの育成指導	137,838	\$1,112	303,604
27	平田	瀬分防犯教室開催および小学校敷地内へのこども見守り防犯カメラ設置プロジェクト	119,880	\$967	281,160
28	倉吉	ロータリアンが高校生と共働して取り組む「緑の彫刻プロムナード整備・植樹」プロジェクト	107,700	\$869	219,542
29	岡山北西	高校生による岡山の歴史・文化研究フォーラム	302,400	\$2,439	625,682
30	岡山城	小中学校生と共に学び親しむ吉備の古代史と和太鼓 ～吉備高厚の学舎と寄宿舍と共に学び生活する小中学校生への支援～	149,600	\$1,207	306,090
31	倉敷南	キッズサッカーフェスティバル 2015	175,000	\$1,412	363,610
32	出雲南	出雲の伝統を知ろう！「出雲民芸紙」を学ぶ	255,120	\$2,058	539,680
33	津山中央	児童養護施設の児童・生徒と行う桜の植樹及びメンテナンス	230,000	\$1,855	460,600
34	鳥取中央	人と人をつなぐ羌々（とつと）ファームふどう園造園プロジェクト	125,000	\$1,009	256,800
35	津山	児童学科で学ぶ大学生を対象とした真庭トノボの森での体験型教育プログラム	100,000	\$807	225,440
36	益田西	健康寿命延伸のための食生活を学ぶ ふるさと食の健康教室	100,280	\$809	218,428
37	真庭	留学生と河内小学生との異文化交流	107,420	\$867	239,236
38	出雲中央	「絆・ことばのパワー」コンテスト	500,000	\$4,033	1,370,118
合 計			7,218,565	\$58,231	15,668,653

2013-16年度

地区補助金プロジェクト企画別件数

	森本G年度	松本G年度	佐藤G年度
人道的プロジェクト	2	10	4
環境保全プロジェクト	7	8	6
教育的プロジェクト	10	13	14
青少年育成指導プロジェクト外	5	5	7
その他	2	0	7
合 計	26	36	38

※ 各クラブ申請書より。

2つ以上の項目に選択がある場合は1つのみで換算

地区補助金プロジェクトの 企画立案のヒント

ロータリー財団の使命を支える活動であること

地域のニーズは何かを探る

地域社会の人々に、地元で何が必要か、地元の“強み”は何かを尋ねる。
それによって地域の人々からの協力が得やすくなり、活動の成果が長続きする可能性が高まる。

どのニーズに取り組むかを決定

クラブやプロジェクトへの協力者の持つ能力（情報、資産、人材等）について検討し、
どのニーズに取り組むかを決定する。（協力者：他クラブ、地区、ロータリー財団、その他の団体）

プロジェクトの選定、計画、実施においては、引き続き地域社会の人々にもかかわってもらう

ロータリー活動への理解や、今後のニーズ発掘につながる。

プロジェクトの目標達成と直接関係ない取り組みや活動はプロジェクトに含めない

補助金管理

1. プロジェクトの選定
2. 補助金の申請
3. 資金の適切な取扱い
4. 成果の評価と報告書作成

**ロータリー財団は、補助金に関する
報告書によってのみ、補助金の使用状況を
知る事ができる。**

**報告書の適切な作成により、補助金管理が
適正である事を証明。**

補助金管理

2015—16年度 地区補助金プロジェクト報告書一覧

1. ロータリー財団 地区補助金報告書
 2. 財務報告書
 3. 補助金での購入品管理表
 4. 資金引出し承認署名簿〈専用口座入出金記録〉
- ※その他 請求書・領収書を含むすべての書類

報告書のファイリングに関する地区の指定

A-4 フラットファイル（色：ピンク） ※インデックスラベル貼付

〈参考資料〉

- 1) 地区補助金報告書式⑧～⑪ 記載説明書
- 2) 地区補助金報告書提出届ならびにチェック表
- 3) 申請済みプロジェクトの変更届

補助金管理

1. ロータリー財団の補助金資金の適切な取扱い。

1) 財務管理計画書

補助金資金の一貫した管理。項目別に請求書・領収書及び
支払の記録と保管。（⑨財務報告書）

2) 補助金専用口座

利息はプロジェクト資金として使用する。
プロジェクト実施後の残額は「0」にする。

3) 補助金資金支払

振込を原則とし、銀行明細書を支出記録として保管。
複数の人で分担する。（⑪資金引出し 承認署名簿）

補助金管理

2. 補助金で購入した財産目録作成

購入物品・作成品・配布物等の記録。

プロジェクト終了後の保管・設置場所、管理者の決定及び記録。

(⑩補助金での購入品 管理表)

3. 評 価

- 1) プロジェクト実施が、どの様に地域社会に恩恵を与え、
あまり恵まれない人々の生活の向上に貢献したか。

〈地区でよいことをしよう〉

- 2) 広報活動の結果として、地域のメディアにどの様に取り上げられたか。 〈ロータリーの公共イメージと認知度の向上〉

補助金管理

4. 仮報告

- 1) クラブは、補助金プロジェクト終了後、1ヶ月以内に
地区ロータリー財団事務所へ仮報告する。

5. 報告書

- 1) 保存期間 → 7年間 (ロータリー財団の監査)
- 2) 原本 → 地区ロータリー財団事務所保管
写本 → 補助金プロジェクト実施クラブ保管
(常時閲覧可能 → 補助金資金の透明性確保)
- 3) 地区への報告書提出期限 → 2016年2月29日

次年度地区補助金の資金は、地区が申請した
すべての地区補助金が終了し、ロータリー財団への
報告・承認が済むまで支払われない。



お願い

補助金管理セミナーで得た情報をクラブ内で
(特にプロジェクトご担当者と) 共有し、
プロジェクトのスムーズな実施にお役立てください

16.



ご清聴いただき

ありがとうございました

⑧ロータリー財団 地区補助金報告書

(2015-16 年度)

事前チェックに従って修正していただき、署名した原本を、最終報告書として提出願います。

所要事項を記入され、必要であれば加筆・訂正して使用ください。(□の箇所は該当箇所を「■」に塗りつぶしてください。)

□ 中間(進捗)報告書

□ 最終報告書

1. プロジェクトの概要

ク ラ ブ 名	※ 複数クラブでの提唱プロジェクトの場合は、代表提唱クラブが記載		
フ'ロシ'ェクト名	西暦で記載してください。		
プロジェクトの区分	□ 単独クラブ提唱プロジェクト □ 複数クラブでの提唱プロジェクト		
共同提唱クラブ名	※ 複数クラブ提唱プロジェクトの場合		
プロジェクト対象	□ 教育的 □ 人道的 □ 環境保全 □ 青少年育成指導 □ その他		
実施場所			
実施時期	[開始日] 年 月 日 ~ [終了日] 年 月 日		
受益者	※2-3) に詳細		
協力団体の名称	※ 協力団体の関与が、ある		
広報活動結果	メディアでの報道数 (新聞 件、TV 件、その他 件)	※2-5) に詳細	
地区補助金	(D) 決算額 円	(a) 地区からの入金額 円	
プロジェクト総額	(F) 決算額 円	(申請書記載)予算額 円	
地区補助金残高	(G) 円 ((a)-(D)+利息(b)) ※⑨財務報告書. 3 に詳細	地区への返金日 年 月 日 ※⑨財務報告書. 3 に詳細	

2. プロジェクト

財務報告書の金額と合わせてください。

2-1) プロジェクト実施内容

※ プロジェクトの実施内容を簡潔に説明してください。
(どのようなことを目的として、誰に対して、何が、いつどこで、どのように実施されましたか。)

プロジェクトの実施内容をより明確にするために、申請書記載の「主旨」も転記してください。できるだけこちらの書式にご記入いただき、スペースが足りない場合には別紙をご使用ください。

写真は A4 サイズの別紙に貼付して、番号を付してください。写真は書式ごとではなく、全体を連番にしてください。複数の項目で同じ写真を使っていたら結構です。

【写真資料 No】: ○、○、○、○

※ プロジェクトの実施概要が分かるよう、写真を付けてください。

2-2) ロータリアンの参加状況

※ プロジェクトを実施するうえでロータリアンはいかに汗を流しましたか。
(どのようなことを、何名のロータリアンが行ったか)

会員の方々が積極的に関与されたことがわかるように「ロータリアンの汗のかき方」を記載してください。
またその様子を写した写真を必ず添付してください。(×集合写真)

【写真資料 No】: ○、○、○、○

プロジェクト No を記載してください。

申請No.

2-3) 受益者の詳細

※ プロジェクト実施により、どのような方が何名程度恩恵を受けましたか。
※ 受益者の中にロータリー関係者がおられたら、参考として記載してください。(例 プロジェクト対象○○福祉施設の理事:○○ORC ○○氏)

ロータリアンは受益者にならないことにご注意ください。

【写真資料 No】: ○、○、○、○

2-4) 協力団体の役割

※ 協力団体が関与している場合、その団体の役割は何でしたか。

【写真資料 No】: ○、○、○、○

2-5) 広報活動結果

※ 広報活動の結果はどうでしたか。(どのようなメディアに、どのように取り上げられましたか。)

参考資料として、掲載された新聞記事を添付してください。
可能であれば、チラシ、プログラム、案内なども添付してください。

【参考資料】: ○、○、○、○

※ 新聞記事内容等は紙面を切り取り、別紙に参考資料として新聞名、掲載日とともに添付してください。

2-6) プロジェクト実施後の効果

※ 本プロジェクトは、どのように地元のためになり、その地域社会に恩恵を与え、あまり恵まれない人々の生活の向上に役立ちましたか。

受益者に対する効果については、2-3) ではなく、こちらに記載してください。

【写真資料 No】: ○、○、○、○

合せ担当者: プロジェクト係の補助金の不備を無くし、管理に当たった2名のロータリアンを記載してください。

連絡担当者名 _____ クラブでの役職 2015-16 年度
電 話 _____ FAX _____ 電子メール _____
連絡担当者名 _____ クラブでの役職 2015-16 年度
電 話 _____ FAX _____ 電子メール _____

4. プロジェクトの資金管理、決算

支出項目に関するすべての領収書・支払証明書類を別紙に添付してください。

■ 地区補助金決算額 (D) _____ 円 (プロジェクト決算総額 (F) _____ 円)

*内容は「⑨【地区指定様式1】財務報告書」、「⑩【地区指定様式2】補助金での購入品 管理表」、「⑪【地区指定様式3】資金引出し承認署名簿」の通り

5. 関係書類の保管管理

すべての関連書類を7年間保管するための、クラブが規定する保管場所を記載してください。
岡山市北区○○町 1-10 ○○ビル 4F ○○ロータリークラブ事務局内のキャビネットNo.○○内に A4 フラットファイル(ピンク)「2015-16 年度 地区補助金報告書(申請書No.○○)」として 2023 年 6 月末日まで保管

具体的に記入してください。

6. 承認と同意

本報告書に署名することにより、あらかじめクラブと地区とで締結した「クラブの覚書(MOU)第 2690 地区 地区補助金用」ならびに「地区申合せルール」に準拠し認められた項目にのみ地区補助金の資金が使用されたと共に、ここに記されたすべての情報が事実であり、かつ正確であることを認めます。補助金資金のすべての支出の領収書は、地区に提出しました。また、本報告書に関連して提出した写真はすべて、地区の所有物となり、返送されないことも理解するとともに、著作権を含めこの写真のすべての権利を地区が所有することを認め、時と場所を問わず、いかなる方法、また現在知られている媒体または後に作成される媒体において、使用料なしで写真を使用する取消不能な許可を地区に与えます。これには、必要であれば、地区の独自の裁量により写真に修正を加える権利が含まれます。また、地区が、ウェブサイト、雑誌、冊子、パンフレット、展示、その他 地区、RI およびロータリー財団の推進資料において写真を制限なく使用できる権利も含まれます。

事前チェックの段階では、署名は不要です。

署名日を記入してください。

【クラブ名】 _____ ロータリークラブ _____ 日付 _____ 年 _____ 月 _____ 日
【2014-15 年度 クラブ会長】 _____ 氏名(ローマ字) _____ 署名 _____
【2015-16 年度 クラブ会長】 _____ 氏名(ローマ字) _____ 署名 _____
【2015-16 年度 クラブロータリー財団委員長】 _____ 氏名(ローマ字) _____ 署名 _____

事前チェックに従って修正していただき、署名した原本を、最終報告書として提出願います。

申請No. _____

⑨ 【地区指定様式1】 財務報告書 (2015-16 年度)

／「クラブの覚書 (MOU) 第 2690 地区 地区補助金用」に基づく届出書

クラブ名 _____

プロジェクト名 _____

1. 収入

申請書と同じ記述にしてください。

	収入の資金区分	
	地区補助金 (円)	その他資金 (円)
1. 地区から受領した地区補助金の資金	(a)	
2. 利息収入	(b)	
3. クラブからの資金		
4. その他の資金 (具体的に記入)		
5. その他の資金 (具体的に記入)		
小 計		(B)
プロジェクト収入総額 (C) = (A) + (B)		

※ 補助金専用口座で発生した利息 (a) (前回プロジェクト終了後に発生した利息を含む) は

プロジェクト費用として

※ 補助金専用口座で発生した利息 (b) (前回プロジェクト終了後に発生した利息を含む) はプロジェクト費用として使用してください。

2. 支出

2-1) 支出表

支出項目は、⑤プロジェクト予算書をもとに具体的にお書きください。必要に応じて行を追加してください。

項 目	領収書 No.	支出の利用区分	
		地区補助金 (円)	その他資金 (円)
1. 交通費 (○⇄△) 大型バス ● 台	○	86,400	
2. 体験学習会パンフレット (口部)	○	43,600	10,400
3.			
4.			
5.			
6.			
7.			
8.			
9.			
10.			
(地区補助金 残金 返金手数料)			
小 計		(D)	(E)
プロジェクト支出総額 (F) = (D) + (E)			

■ 項目…申請時 (予算書) と同じ項目名にしてください。

■ 領収書No. …すべての支出項目に関して領収書が必要となりますので、添付領収書No.を記載してください。補助金での支払いの領収書は原本を添付してください。振込手数料の場合は、通帳の写しでも構いません。

■ 地区補助金 (円) …1. 収入 2 (b) の利息も含めた金額を記載してください。

■ その他資金 (円) …クラブ負担分の購入品についても領収書 (コピー可) を添付してください。振込手数料もプロジェクト費用に含めてください。

※ 補助金とその他資金の両方で支払った場合には項目 2. のように同じ行に記載してください。

2-2) 申請予算時との相違について

※⑤プロジェクト予算書の金額と大幅な増減がある項目について理由を教えてください。

(記載例)

この記載例の表記は、提出書類作成時は削除してください。

- ・支出項目 1. 「会場費」について：予定より時間を延長したため予算より大幅増となりました。
- ・支出項目 2. 「参加募集広告折込料」：予定より単価が安価な用紙でも十分であることが分かったため、金額が大幅減となりました。

3. 残 高 (補助金に関する残高がある場合は、この残高の扱いに関しても記載)

	(G) 地区補助金 (円)
各 区 分 ご と の 残 高	(A) - (D)

地区補助金の支出項目は、基本的に申請時の予算書と同じ項目でお願い致します。項目の変更は「変更届」のご提出をお願い致します。

■ 地区補助金に関する残高の扱い ((A) - (D) の残高がある場合のみ記載)

年 月 日 地区に返金 実質返金額 円
送金手数料 円 (項目 2 支出表に記載ください。)

※ 残金 (利息も含む) を、地区へ返金する際の手数料に充てていただいても結構です。
(プロジェクトの実施に必要な管理運営費として補助金額の最高 3 % まで使用可能)

4. 利害の対立に関する報告

地区補助金に係る受益者ならびに取引業者にロータリー関係者が含まれる場合は、「利害の対立に関する方針」に抵触する可能性がありますので、その取引が公平かつ透明であることを開示する必要があります。以下に その内容 (項目 2. 支出表の No と支払先ロータリアン関係者名等) を記載し、記載した内容が公平な取引であることを説明するとともに、これを証する文章全体をこのように二重線で消してください。消し方は 消す箇所を反転後「フォント」→「二重取消線」で可能です

4-1. 受益者に関する報告 (適合しない方を「—」で消してください。)

☐ 利害の対立はありません。

☒ 以下の通り報告致します。

4-2. 取引業者に関する報告 (適合しない方を「—」で消してください。)

※ ⑤プロジェクト予算書 2. 備考欄でご報告の内容も再度ご記入下さい。

☐ 利害の対立はありません。

☐ 以下の通り報告致します。

支出項目「3. プログラムの印刷」の支払先は、補助金申請クラブ内の〇〇会員の経営する「(株)〇〇印刷」です。

〇〇会員は入会〇年目の信頼できる会員であり、印刷単価・納期・業務依頼手続き・本プロジェクトの理解度等、総合的に判断して取引は適正なものであることを確認しています。

5. 承認と同意

※⑤プロジェクト予算書 2. 備考欄でご報告の内容も再度ご記入下さい。

本報告書に署名したものは、(MOU) 第 2690 地区 地区補助金用」ならびに「地区申合せルール」に準拠し、認められた項目にのみ使用され、ここに記されたすべての情報が事実であり、かつ正確であることを認めます。なお、支出項目各金額ならびに単価は適正価格であること、並びに「利害の対立に関する報告」も含め 地区ならびに財団より必要な記録や証明となる資料の提出を要することを誓います。

署名日を記入してください。

【クラブ名】	ロータリークラブ	日付	年 月 日
【2015-16 年度 クラブ 〇〇】	〇〇	署名	
【2015-16 年度 クラブ 〇〇】	〇〇	署名	
【2015-16 年度 クラブ 幹事】	氏名 (ローマ字)	署名	

事前チェックの段階では、署名は不要です。

※ クラブはすべての支出の領収書を保管しなければなりません。補助金支払分は領収書原本を添付してください。

※ 地区補助金の残金が発生した際は送金手数料も記載ください。

2名の担当者が署名した原本を、最終報告書として提出してください。

⑩【地区指定様式2】補助金での購入品管理表 (2015.10年度)

※ 地区補助金の利用に関する ローター財団よりの以下の指定事項に基づく「補助金での購入品 管理表」です。

【財務管理計画としての必要事項（ローター財団指定事項）】：補助金で購入した備品・設備やその他の財産を管理する在庫管理システムを確立し、補助金関連活動のために購入したもの、作られたもの、配布されたものの記録を付ける。

- ※ 補助金で購入したものの、作られたものの、配布されたもののすべてに関して記入してください。
- ※ 上記 すべてのものに対して写真を撮ってください。海外よりの監査時にも有効な資料となります。（各写真は、⑫【別紙】写真に No を付け、**担当者2名の署名が必要**です。）
- ※ 「保管・設置場所」「管理責任者」は、補助金での購入品目に関しての 今後の所在・管理者を明確にするためのものです。
- ※ 補助金購入品のうち、「清掃用ゴミ袋」「コンサート案内パンフレット」等を すべて使い切った場合は「保管・設置場所」の欄に「すべて使用済み（在庫なし）」と記入してください。これら品目に関しても 在庫が生じた場合は、この在庫分の「保管・設置場所」「管理責任者」を明記して、必要な場合（在庫が購入していただき。）

クラブ名
プロジェクト名

申請書と同じ記述してください。

クラブ会長
クラブR財団委員長

補助金での購入品目	数量	単位	金額（円）	写真 No.	実施日 （引渡日）	保管・設置場所	管理責任者 （所属・役職・氏名）	備考
補助金での購入品目…補助金での購入品のみ記載してください。 クラブ負担金のみで購入したものは記載不要です。 ■写真No.…⑧報告書、⑨資金引出し承認署名簿に添付の写真と重複しても構いません。 必ず写真No.を記載してください。 ■保管・設置場所…チラシ等、配布したものは「すべて配布済み」としてください。 ロータリーが受益者になることはできませんので、補助金で購入したものはクラブで保管することはできません。 ロータリー関係以外に寄贈して、保管場所と管理責任者を記載してください。								

■備考・・・補助金とクラブ負担金を合算して支払った場合には、備考欄に次のように記載してください。

「補助金 ¥○○○○	クラブ負担金 ¥○○○○」
------------	---------------

⑪【地区指定様式3】資金引出し承認署名簿（2015-16年度）＜専用口座入出金記録＞

／「クワ7」の党書（MOU）第2690地区地区補助金用」に基づく届出書

※補助金専用銀行口座よりの資金の引出しには、事前に「クラブのローター-財団委員長」および「クラブ幹事」の2名による以下の表への承認署名が必要となります。(各行)

※ 地区補助金プロジェクトの支払内容がわかるよう、地区からの補助金送金後、専用口座へその他資金(クラブ資金)をご入金いただき、可能な限り直接支払先にご送金ください。

※ 日付、入出金内容、金額、支払先は、補助金申請時の予算書に基づき、専用通帳とすべての領収書において齟齬を来さないように対処してください。

※ 支払われた金額に対するすべての領収書は、番号を記載して別紙にまとめて保管してください。

※ 購入した原材料、作成したパンフレット类等 プロジェクトに要した支出項目に関して、可能な限り写真を添付した方が、海外よりの監査時にも有効です。

※ 地区補助金専用口座よりの出入りのすべてがわかるように、専用通帳の入出金内容の写しを別紙に付けてください。

クラブ名

プロジェクト名

專用品座名

追加してください。

利息はプロジェクト費用として使用してください。

日付	入出金内容	金額(円) ※出金時は 「△」を付ける	支払い先 ★	印鑑サイン	領収書No. ★	写真No. ★	残高
				クワ、幹事	クワ、ローター 財団委員長		

[illegible]

① 地区補助金報告書 提出届 ならびに チェック表

第 2690 地区

2015-16 年度 地区補助金 委員会 宛

ロータリー財団 地区補助金報告書の提出にあたり、下記の「報告書のファイリングに関する地区の指定」に従い、地区指定ファイル形式にて 定められた順に必要な書類が揃っていることを確認し提出致します。

なお、クラブ保管分として 提出書類の写し 1 部を届け出た保管場所に 7 年間保管致します。

報告書提出日	(西暦) 年 月 日	申請 No.	
報告クラブ名			
プロジェクト名			

【報告書のファイリングに関する地区の指定】

地区補助金報告書類は、インデックスラベルを付けて以下の順（上から①②③・・・の順）で、市販の A-4 フラットファイル [タテ型、色：ピンク] に綴じて提出してください。なお、A-4 フラットファイルの側面ならびに表紙の記載方法は「②【別紙】 地区補助金報告書：A-4 フラットファイルへの表記法」を参考にして、「クラブ名」「補助金申請 No.」を各クラブ用に変更して印刷後、切り取って指定の A-4 フラットファイルに とれないように強く貼り付けてください。

★ 申請書類提出時と同様、最終報告書ご提出前、プロジェクト終了後 1 ヶ月以内に必ず、地区に事前チェック用としてメールにて報告書類をお送りください。

※ 必ず 2016 年 2 月末日までに 事前チェックを受けた最終報告書を地区へ提出してください。

※ 2016 年 1 月末日頃までにプロジェクトが終了できることを推奨します。

No.	チェック欄		必 要 書 類	チェック 事項
	クラブ	地区		
①			地区補助金報告書 提出届 ならびに チェック表	
②			【別紙】地区補助金報告書：A-4 フラットファイルへの表記法	
③			クラブの覚書(MOU)第 2690 地区 地区補助金用(2015-16 年度)(写し)	
④			ロータリー財団 地区補助金申請書(写し) ● 『変更届』提出された際には写しを④の後ろに添付して下さい。	
⑤			【別紙】プロジェクト予算書(2015-16 年度)	
⑥			【別紙】見積書(写し)	
⑦			地区補助金 専用口座届出書 (写し)	
⑧			ロータリー財団 地区補助金報告書	【署名要】「記載説明書」を参照
⑨			【地区指定様式 1】財務報告書(2015-16 年度)	クラブは全ての支出の領収書を提出しなければなりません。補助金支払分は領収書原本を添付してください。
⑩			【地区指定様式 2】補助金での購入品 管理表(2015-16 年度)	【署名要】
⑪			【地区指定様式 3】資金引出し 承認署名簿(2015-16 年度) ＜専用口座入出金記録＞	【署名要】
⑫			【別紙】写真資料 (写真には No を付けてください) ※ 報告書⑧、様式 2⑩、様式 3⑪に必要な写真資料を、A-4 用紙に貼り付けてください。重複しても構いません。 ※ メールでの送信時は、PDF 変換等で容量を軽くしてください。	⑧：プロジェクトの実施概要が分かるように出来るだけ多くの写真を付けてください。⑩⑪：プロジェクトに要した支出項目に関して全て写真を添付してください。
⑬			【別紙】参考資料 ※ 報告書⑧、様式 2⑩に必要な写真以外の資料： 「広報活動結果」、「ハンプレット」、「お礼状」、「感想文」、「アンケート結果」等	報告書の「記載説明書」を参照 2-5) 広報活動結果 2-6) 実施後の効果
⑭			【別紙】領収書および請求書 ※上記 様式 1⑨・様式 3⑪に必要な領収書および請求書	全ての領収書および請求書は、番号を記載してまとめて添付してください。
⑮			【別紙】地区補助金専用通帳のすべての入出金内容の写し	



**ロータリー財団 地区補助金
申請済みプロジェクトの変更届**
(2015-16 年度)

申請No. _____

1. 所要事項をご記入ください。(該当項目を「■」に塗りつぶしてください。)

☐ 変更 ☐ 中止

2. 下記 地区補助金申請済みプロジェクトに関して、以下の通りの変更を行うことを報告します。

プロジェクト No :

プロジェクト名 :

提唱クラブ :

申請日付 : 2015 年 月 日

変更内容 :

変更理由 :

3. 私たちは、地区補助金申請済みプロジェクトの実施を上記記載の通り変更することを確認します。

※ 複数クラブでの提唱プロジェクトの場合は、代表提唱クラブが記載

【クラブ名】	ロータリークラブ	日付	年	月	日
【2015-16 年度 クラブ会長】	氏名(ローマ字)	署名			
【2015-16 年度 クラブロータリー財団委員長】	氏名(ローマ字)	署名			

4. 承認

上記事項を承認します。

国際ロータリー第 2690 地区

【2015-16 年度 地区ロータリー財団委員長】

署名 _____ 日付 年 月 日

地区補助金管理セミナー

② 2016-17 年度地区補助金プロジェクト (実施に向けて)

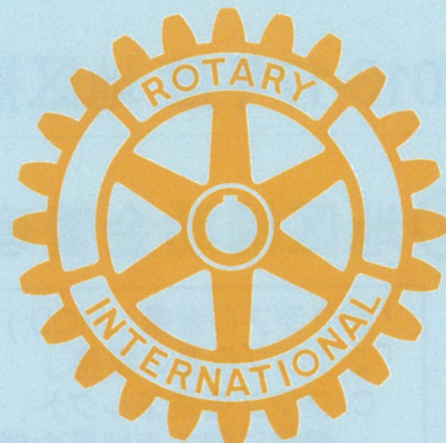
次期地区補助金小委員会委員長 小林 哲

一般小企業年金制度

平成17年度厚生労働省 年金課 年金課長 小島 正太郎 氏
(ご本人よりご来所)

小島 正太郎 氏 厚生労働省 年金課 年金課長 小島 正太郎 氏

2015.12.13
米子全日空ホテル



国際ロータリー第2690地区

次期クラブロータリー財団委員長研修会 地区補助金管理セミナー

2015-16年度 地区補助金小委員会副委員長
境港RC 小林 哲



2016-17年度 地区補助金プロジェクト 申請と実施に向けて



2016-17年度 地区補助金プロジェクト申請の準備①

①地区補助金管理セミナーに参加 (開催：米子)

『③クラブの覚書 (MOU) 第2690地区 地区補助金用 (2015-16年度)』

「2.クラブ役員の責務」

C. クラブ会長エレクト、またはクラブが任命した代表者は、補助金管理と参加資格に関する地区主催の研修会に出席しなければならない。

12月13日

次期クラブR財団委員長研修会・補助金管理セミナー

3月12-13日

PETS

5月14日

次期地区会員増強・ロータリー財団合同セミナー

**計3回。
全て今年度内に開催。**

2016-17年度 地区補助金プロジェクト申請の準備②

②ルールに則って申請してください

▼ 『ロータリー財団

地区補助金とグローバル補助金 授与と受諾の条件』

▼ 『補助金参加者の利害の対立に関する方針』

▼ 『国際ロータリー第2690地区 2016-17年度

地区補助金に関する地区申合せルールとプロジェクトの適合資格』

▼ 『クラブの覚書 (MOU) 』

⇒申請書類 地区締切り 3月31日

2016-17年度 地区補助金プロジェクト申請の準備③

③覚書（MOU）を地区と締結
＝地区とクラブ間の地区補助金に関する同意書

- 1) クラブの参加資格
- 2) クラブ役員の責務
- 3) 財務管理計画
- 4) 銀行口座に関する要件
- 5) 補助金の使用に関する報告
- 6) 書類の保管
- 7) 補助金の不正使用に関する報告

⇒申請書類 地区締切り 3月31日

2016-17年度 地区補助金プロジェクト申請の準備④

申請書類 3点

- ③ロータリー財団クラブの覚書（MOU）
第2690地区 地区補助金用（2016-17年度）
- ④ ロータリー財団 地区補助金申請書
- ⑤ 【別紙】 プロジェクト予算書（2016-17年度）
/ 「ロータリー財団 地区補助金申請書」添付書類

④申請書と⑤予算書は、署名入りの正式な書類を作成する前に、地区R財団事務所へ送信し、事前チェックを受けてください。

ロータリー財団

地区補助金とグローバル補助金 授与と受諾の条件(2015年7月)

ロータリー財団 地区補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件 (2015年7月)

II. 受領資格の指針

財団の補助金を活用するすべての活動は、以下に該当しなければならない。

1. ロータリー財団の使命に関連していること。
2. ロータリアンが積極的に参加すること。

地区ルール：

**会員が如何に関与（会員が汗を流すこと等）しているかが、
明確に示せるようなプロジェクトとする。**

3. ロータリー財団、または国際ロータリーに対し、補助金の支給金額を支払うこと以外に何の責任も負わせないこと。
4. 米国および補助金の実施地の法律を順守すること、また個人あるいは団体に害を与えないこと。

II. 受領資格の指針

財団の補助金を活用するすべての活動は、以下に該当しなければならない。

5. 実施に先立ってロータリー財団により審査され、承認された活動のみに使用すること。既に完了済みあるいは進行中のクラブや地区の活動や経費を支払う目的で補助金を使用しないこと。承認に先立って補助金活動の計画を立てることが奨励されているが、承認前に経費が発生してはならない。補助金が承認された後にプロジェクト計画に変更を加える場合は、その変更について事前にロータリー財団の承認を得なければならない。ロータリー財団は、学位取得プログラムの学期ごとに新しい活動とみなし、補助金の支給対象とする。
6. 実施地の伝統と文化に配慮する姿勢を示すこと。

II. 受領資格の指針

財団の補助金を活用するすべての活動は、以下に該当しなければならない。

7. ロータリー財団章典の第10.030節に基づき、「補助金参加者の利害の対立に関する方針 (the Conflict of Interest Policy for Grant Participants) 」を順守すること。

- ・ ロータリアン、そのご家族は受益者となれません。
受益者関係の中にロータリー関係者 ⇒ 参考として記載
 - ・ 取引業者にロータリー関係者が含まれる場合は、公平な取引であることを説明してください。
 - ・ 複数の業者への見積もり要請のお願い。
- 地区ルール : (1件5千円未満の取引については省略可)

8. ロータリー財団章典の第4.090項に基づき、ロータリーの標章の使用に関する方針を順守すること。

ロータリー財団

地区補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件 (2015年7月)

III. 制約事項

1. 特定の受益者、団体、地域社会に対する継続的または過度の支援。

受益者が同じプロジェクトは申請できません。
寄贈を行われる際は、過度の支援となっていないか、プロジェクトで必要なものか、クラブ内での審査をお願いします。

2. 財団、恒久的信託、利子の発生する長期口座の開設。

ただし、第Xセクションに記載された要件に提唱者が従うならば、補助金資金を小口融資ファンドの設立のために使用できる。

3. 土地や建物の購入。

4. 募金活動。

5. 地区大会、国際大会、研究会、創立記念式典、娯楽活動などの ロータリー行事に関連する経費。

例会等の費用も対象となりません。

ロータリー財団

地区補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件 (2015年7月)

III. 制約事項

6. 人道的活動または教育的活動に直接関連していない広報。

7. 500ドルを超える、プロジェクトの標識。

- 500ドル以下の人道的/教育的なプロジェクトを記念・説明する標識
- 500ドル以下の参加者募集の案内・チラシ・ポスター・看板等
- 標識自身が人道的/教育的な目的を果たすもの（金額の制限はなし）
- × 実施中の模様を撮影したビデオ製作費・記念写真の費用
- △ 終了したプロジェクトを紹介した内容 ⇒ クラブの宣伝と見なされる可能性有
- × プロジェクト全体の予算が800ドルでそのうち標識が500ドルだった場合

ロータリー財団

地区補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件 (2015年7月)

III. 制約事項

8. 他団体の運営費、管理費、間接プログラム経費。
9. 受益者や協力団体への使途無指定の現金寄付。
10. 既に経費が発生した活動。



RIの承認日以降の領収証のみ報告時承認されます。

(11～14: 略)

ただし、『国際ロータリー第2690地区 2016-17年度 地区補助金に関する地区申合わせルールとプロジェクトの適合資格』 「2.申請、並びに報告について」 にて以下は認められる。

5) 申請の承認以前に経費が発生した活動は、補助金の対象とならない。ただし、公的施設をプロジェクトの会場として使用する場合など、承認日以前の支出が必要な経費については、その必要性の説明を前提として、その他資金による支出として認める。

ロータリー財団

地区補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件 (2015年7月)

III. 制約事項

10. 既に経費が発生した活動。



**補助金プロジェクトの実施
2016年8月頃～2017年1月までの期間を推奨**

※推奨期間について

開始: 既に経費が発生した活動には充てられないため

終了: プロジェクト実施後1ヵ月以内の仮報告が必要なため

☆ RIへの申請5-6月 ⇒ R財団承認目途は不明

2013-14年度	6/24申請	7/20承認	8/8R財団送金
2014-15年度	7/3申請	8/19承認	8/20R財団送金
2015-16年度	7/21申請	8/7承認	8/17R財団送金

☆ 報告締切2017年2月末

国際ロータリー第2690地区 2016-17年度

地区補助金に関する

地区申合わせルールとプロジェクトの適合資格

地区補助金に関する

地区申合わせルールとプロジェクトの適合資格

1. 申請プロジェクト内容について

- 1) 1クラブ1プロジェクト および複数クラブでの共同申請も可能である。
※クラブ独自の提唱プログラムとは別途申請可能。
- 2) 1プロジェクトの補助金額の下限は10万円、上限は50万円とする。
自己資金は、補助金と同額、またはそれ以上とする。(プロジェクト総額は20万円以上)
- 3) 地区補助金は「**地区でよいことをしよう**」の精神に則り、**地区内実施プロジェクトとする。**
- 4) **ロータリアンが積極的に関与すること。**
また、会員が如何に関与(**会員が汗を流すこと等**)しているかが、明確に示せるようなプロジェクトとする。

地区補助金に関する 地区申合わせルールとプロジェクトの適合資格

1. 申請プロジェクト内容について

5) 「授与と受諾の条件」(2015年7月版)を遵守すること。

附帯事項

②以下の費用は地区補助金申請時のプロジェクトの費用としては認められない。

A. 飲食費、並びにコンクール等での賞品、プレゼント類に係る費用

B. プロジェクトに係る高額な広報・宣伝費

× ジュース/お弁当/食事代・賞状/トロフィー費用・景品

× 参加者への粗品・寄贈のみのプロジェクト

○ プロジェクトに必要でプロジェクト内で使用した「物」の寄贈、食材

○ 地域の食材を使っの料理教室での食材

6) 「補助金参加者の利害の対立に関する方針」(ロータリー財団章典 第10.030節)を遵守すること。

・クラブ会員の業者との取引は透明性の説明を！

・ロータリー関係者如何にかかわらず相見積の提出をお願いします！

国際ロータリー第2690地区 2016-17年度 地区補助金申請書類について

④ ロータリー財団 地区補助金申請書

1. クラブ名

2. このプロジェクトのプロジェクト名等を記述して下さい。

プロジェクト名： **プロジェクトの内容のわかる名前をお願いします**

プロジェクト対象： ☐ 教育的 ☐ 人道的 ☐ 環境保全 ☐ 青少年育成指導 ☐ その他

3. プロジェクトがどのように地域社会のニーズに応え、その地域や人々の福祉の向上に役立つかを記述してください。

4. プロジェクトにおける資金面以外のロータリアンの参加状況を記述して下さい。

ロータリアンの方の活動予定を具体的にお願いします

5. プロジェクト連絡担当者：プロジェクト補助金の不備を無くし管理に当たる2名のロータリアンを記載してください。

6. 本活動がロータリーの提唱プロジェクトであることをどのような方法で一般の人々に広報しますか？新聞の広告あるいは、ロータリー徽章の展示というように具体的な例で説明してください。

(7: 略)

**クラブ主催を明記した、参加募集リーフレットについて/
報道各社（新聞、ケーブルテレビ等）に取材依頼/
実施時にロータリー徽章の入ったタスキや上着の着用 等**

④ ロータリー財団 地区補助金申請書

8. 予算：プロジェクト全体の、全ての項目を含む詳細かつ明確な予算を含めてください。 この予算の作成に当たって使用された証明書類（見積書等）を添付してください。

9. 承認：

報告時には、すべての支出項目に関して、領収書・支払証明書類をご提出ください。

2015-16年度 クラブ会長・2015-16年度 クラブ会長エレクト・

2016-17年度 クラブロータリー財団委員長 がご署名ください。

ご署名前に事前チェックのためご提出をお願いします。

⑤ 【別紙】プロジェクト予算書 (2016-17年度)

/ 「ロータリー財団 地区補助金申請書」添付書類

1. 地区補助金の支出は

⇒ 監査対象となる項目 簡潔な記載 原則として、予算計上された項目に限定。
クラブに残る物品を購入する場合は『その他資金』より支払う。

2. 予算計上の根拠となる見積書を添付。

⇒ 相見積を行った場合は、双方の見積書を添付。
見積もりの取れない項目は、算出根拠の説明を備考欄へ

専用口座からの送金手数料も計上してください。

※ 講師料・原稿料等も領収証は必要です。事前に先方へのご説明をお願いします。

3. 利害の対立がある場合は、公正な取引である事を報告。

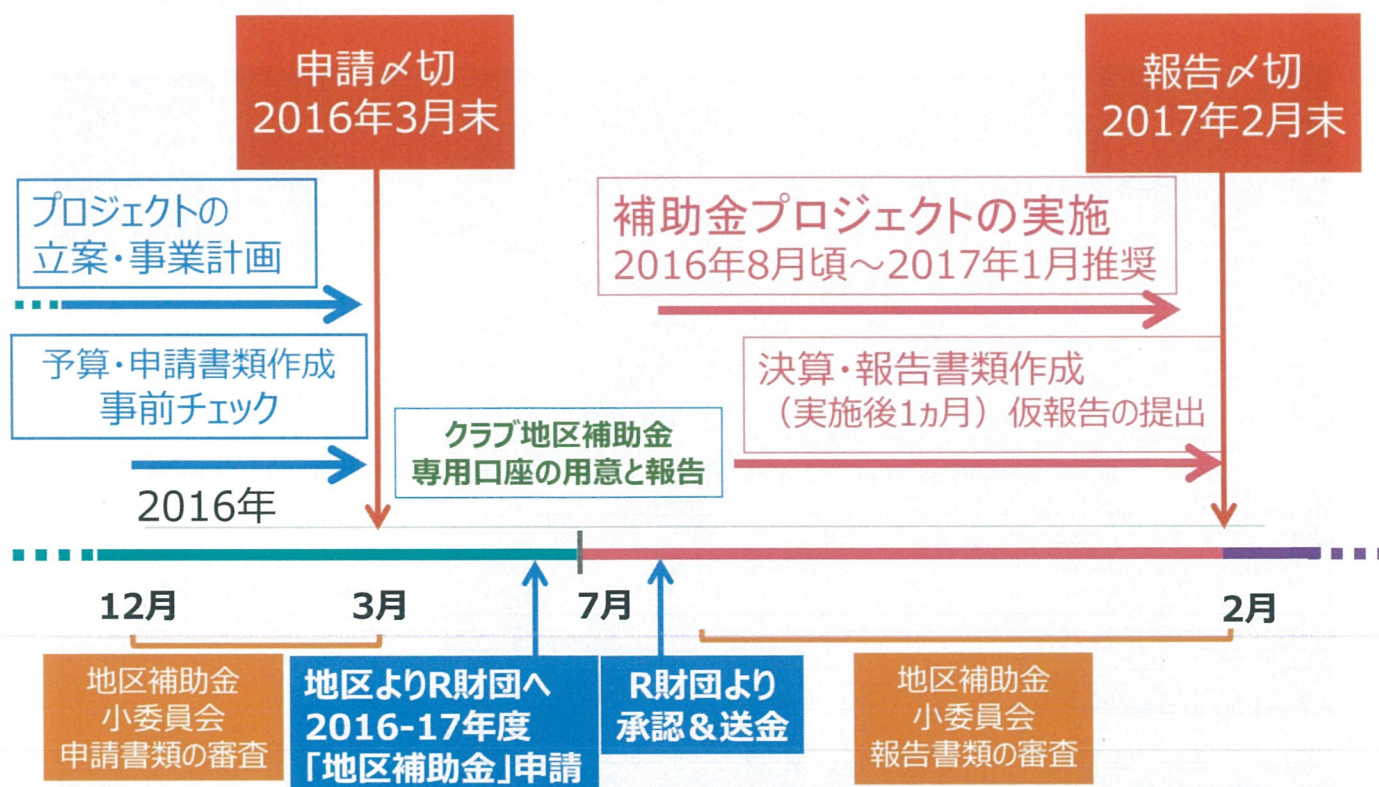
⇒ 業務取引をする相手方にロータリアンやロータリー関係者が存在する場合。

地区補助金申請書記載事項チェックリスト

チェック内容	
WHAT	何を実施するのか？ ・ロータリー財団の使命に合致する内容となっているか。 「健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済する。」 ・ロータリアンが直接参加しているか。 ・物品寄贈のためのプロジェクトになっていないか。
WHY	なぜ、実施するのか？ ・どのような「地域社会のニーズの調査」に拠ったのか。
WHEN	いつ、実施するのか？ ・なぜその時期となったのか。
WHERE	どこで、実施するのか？ ・なぜその場所となったのか。
WHO	誰が、実施するのか？ ・なぜその団体or人の協力を得るのか。
HOW	どのように、実施するのか？ ・プロジェクト終了後も地域の人々が自力でニーズに応えられるような支援となっているか。
HOW MUCH	いくらで、実施するのか？ ・契約方法は、適正か。 1社見積：5000円以下又は相見積が採れない理由有り 2社以上の見積：上記以外（ロータリー関係者であるかどうかにかかわらず）

申請書にこちらの
内容をもれなく簡潔に
記載してください。

2016-17年度 地区補助金プロジェクトスケジュール



2016-17年度 地区補助金プロジェクトスケジュール

2015-16年度 地区補助金 実施担当者 関連（佐藤G 年度）			2016-17年度 地区補助金 計画・実施担当者 関連（庄司G 年度）		
期 日	内 容（研修会、申請書・報告書の締切等）		期 日	内 容（研修会、申請書・報告書の締切等）	
2015年	8月上旬～	● 各クラブ提唱プロジェクトの実施	2015年	12月13日（日）	第1回次期ガバナー補佐会【米子】 ● 次期クラブ財団委員長研修会【米子】 （補助金管理セミナー：計画年度への準備・参画要請・研修）
2016年	2月29日	● プロジェクト実施報告書の地区提出締切 ※正式書類の提出期限（注1）参照）	2016年	3月12-13日（土・日）	● PETS【米子】 （補助金管理セミナー：地区補助金申請への準備要請）
	～5月中旬	報告書のチェック・修正サポート		3月31日（木）	● 次年度覚書・申請書の地区提出締切
	5月下旬	R財団へ報告書を提出		～5月中旬	申請書のチェック・修正サポート
	～7月初旬	プロジェクト クローズ		5月14日（土）	● 次期地区会員増強・R財団合同セミナー【米子】 （補助金管理セミナー：地区補助金実施についての説明）
				5月下旬	R財団に地区補助金（スポンディングプラン）を一括申請
				6月初旬～7月初旬	R財団によるスポンディングプランの審査 （必要な場合は地区で修正）
※ ●印の項目は、各クラブ担当の業務・研修会等の内容です。			2017年	7月初旬～8月中旬	● R財団より地区に庄司年度プロジェクト資金送金
				7月下旬～8月中旬以降	● 地区より各クラブへ補助金送金
注1）プロジェクト終了後1ヶ月以内に報告書をメールにてご提出下さい。 地区補助金小委員会でチェックした後、ご返答いたします。 その後正式に、必要箇所にご署名を頂いた報告書、その他全ての書類の含まれた原本ファイルを地区R財団事務局宛にご郵送下さい。			注2）次年度の各クラブ提唱プロジェクト開始可能時期に関しては、財団よりのスポンディングプランの承認状況を踏まえ、地区より各クラブに改めてご連絡いたします。 現時点では「8月下旬～」を予定しています。		
			8月上旬～		
			● プロジェクト実施（注2）参照）		
			● プロジェクト実施報告書の地区提出締切 ※ 正式書類の提出期限（注1）参照）		

「ロータリアン」入会と継続の理由

（2011年に実施した「ロータリーのブランドイメージに関する調査」より）

「理由として最も当てはまるものは何ですか」	入会した理由	会員であり続ける理由
地域社会に貢献するため	35%	36%
友情／親睦	30%	38%
職業人のネットワークづくり／ビジネス発展の機会	18%	5%
世界に貢献するため	9%	15%

ご清聴
ありがとうございました

The
Rotary
Foundation



国際ロータリー第 2690 地区 2016-17 年度
地区補助金に関する
地区申合せルールとプロジェクトの適合資格

注) 文中の★は「ロータリー財団 地区補助金とグローバル補助金 授与と受諾の条件」記載事項
その他の項目は「地区申合せルール」

1. 申請プロジェクト内容について

- 1) 1クラブ 1 プロジェクト および複数クラブでの共同申請も可能である。
※ クラブ独自の提唱プログラムとは別途申請可能。
- 2) 1プロジェクトの補助金額の下限は10万円、上限は50万円とする。自己資金は、補助金と同額、またはそれ以上とする。(プロジェクト総額は20万円以上)
- 3) 地区補助金は「地区でよいことをしよう」の精神に則り、地区内実施プロジェクトとする。
- 4) ロータリアンが積極的に関与すること。★
また、会員が如何に関与(会員が汗を流すこと等)しているかが、明確に示せるようなプロジェクトとする。
- 5) 「授与と受諾の条件」(2013年7月1日以降の補助金に適用)(2015年7月版)を遵守すること。★²

制約事項

以下の目的に補助金は利用できない。(一部抜粋)

- a. 特定の受益者、団体、地域社会に対する継続的または過度の支援。
- b. 土地や建物の購入。
- c. 募金活動、現金寄付。
- d. 地区大会、創立記念式典、娯楽活動などのロータリー行事に関連する経費。(例会含む)
- e. 広報(プロジェクト実施に不可欠な場合を除く)。
- f. 500ドルを超える、プロジェクトの標識。
- g. 既に経費が発生した活動。

附帯事項

- ① 青少年プログラム(ロータリー青少年交換、RYLA、ローターアクト、インターアクトなど)、建設(低廉住宅を含む)、協力団体の職員による補助金関連の旅行、奨学生のためのオリエンテーションセミナー、補助金管理セミナー及び主にロータリー以外の団体によって実施されている活動については、地区ロータリー財団委員会において、特に必要があると認められたプロジェクトは、補助金の対象とする。
- ② 以下の費用は地区補助金申請プロジェクトの費用としては認められない。
 - A. 飲食費、並びにコンクール等での賞品、プレゼント類に係る費用
 - B. プロジェクトに係る高額な広報・宣伝費

※ 「地区補助金申請プロジェクト費用として認められない費用」に関しては、プロジェクト予算書の「地区補助金区分」「その他資金区分」のどちらにも含めることができない。(必要な場合は、別途クラブ費からの負担をお願いします。)
- 6) 「プログラム参加者のための利害の対立に関する方針」(ロータリー財団章典 第 10.030 節) を遵守すること。★
・財団の財産保全に関して、「寄付者が補助金の受領者になるべきではない」という基本的な考えにより、ロータリアンならびにロータリー関係者は補助金の受給者となることはできない。
※ ただし、補助金の受給者として申請した対象施設の理事等に、ロータリー関係者が在籍する場合は、申請書にあらかじめこの事実を記載し、「利害の対立が生じる可能性を開示」することにより申請は可能。
・ロータリー財団プログラム補助金と関連して、ロータリー組織から同業者への支払いが行われるような業務取引を行う場合、妥当な費用で最良のサービスを確保するため、その業者とロータリー組織との間につながりがあるかどうかに関わらず、その取引を行う前に、公正、透明、かつ完全な見積もり要請と

入札手続きを行わなければならない。

※ ロータリー関係者が取引業者に含まれる場合は予算書に記載のこと。

※ 1件5千円未満の取引については、複数の業者への見積もり要請を省略することができる。¹

7) 奨学金支給に関しては、前年度通り「地区提唱の奨学金」のみとする。(詳細は地区 HP を参照)

2. 申請ならびに報告について

1) 申請には、2015－16年度クラブ会長、会長エレクト、2016－17年度ロータリー財団委員長の連署を要する。

2) 申請には、クラブと地区との間の同意書である補助金活動の適切な実施および補助金資金の適切な管理を行うためにクラブが取るべき対策が記載されている、覚書(MOU)の締結が必要である。覚書には、2015－16年度クラブ会長、会長エレクト、2016－17年度ロータリー財団委員長の連署を要する。

※ クラブが任命した代表者の地区主催「補助金管理セミナー」参加条件も含まれる。

3) 地区補助金申請書は、覚書(MOU)とともに当該実施年度の前年度の3月末までに地区に提出しなければならない。

4) 地区への申請、報告書に関して、署名入りの正式な書類を作成する前に、事前チェックのため電子メールで署名以外の必要事項を記載したものを「案」として地区 R 財団事務所へ提出しなければならない。

5) 申請の承認以前に経費が発生した活動は、補助金の対象とならない。ただし、公的施設をプロジェクトの会場として使用する場合など、承認日以前の支出が必要な経費については、その必要性の説明を前提として、その他資金による支出として認める。³

6) 補助金資金の使用に関する報告には、補助金使用のプロジェクトの実施概要が視覚的にもわかるように必要な写真を付ける(海外よりの監査時に有効)。

※ この写真には出来るだけ「ロータリーマーク」ならびにロータリーの「たすき」「帽子」等も含め、ロータリーの関与が一見してわかるようにすることが望ましい。

7) 報告書は、プロジェクト終了後1ヶ月以内に地区 R 財団事務所に仮報告しなければならない。

8) 補助金資金の使用に関する最終報告書は、当該実施年度の2月末日までに地区 R 財団事務所に送付しなければならない。

9) 申請額の合計が、補助金総額を上回った場合には、該当する年度における各クラブの財団寄付額を勘案して減額する場合がある。

以 上

¹ 2014年7月6日 一部追記

² 2014年11月26日 一部修正・追記

³ 2014年11月26日 修正

⁴ 2015年1月29日 一部改訂

③ クラブの覚書(MOU) 第 2690 地区 地区補助金用 (2016-17 年度)

この文書は、ロータリー財団が補助金の活用にあたって、クラブ用に作成した正式な覚書 (MOU) をもとに、第 2690 地区として必要最小限の内容に一部修正を加えたものです。クラブと地区の間の同意書であるこの文書には、ロータリー財団 地区補助金の活動および資金の管理を適切に行うためにクラブが取る対策が説明されています。この文書を承認することにより、クラブはすべての財団の要件を遵守することに同意することになります。
なお、グローバル補助金を使用する場合には、ロータリー財団が作成した正式な覚書 (MOU) の締結が別途必要となります。

1. クラブの参加資格

2. クラブ役員の責務

3. 財務管理計画

4. 銀行口座に関する要件
5. 補助金資金の使用に関する報告

6. 書類の保管

7. 補助金資金の不正使用に関する報告

1. クラブの参加資格

A. 参加資格条件がすべて満たされた場合には 2017 年 6 月 30 日まで、クラブは 2016-17 年度のクラブの地区補助金への参加資格が認められる。

B. クラブが認定状況を維持するには、この覚書 (MOU)、地区が定めた追加要件、その他該当するすべてのロータリー財団方針を遵守しなければならない。

C. 資金の管理を誰が行ったとしても、クラブが提唱した補助金資金の使用に対しては、クラブが責任を負う。

D. 以下のような補助金資金の不正使用ならびに不適切な管理 (ただしこれらに限らない) が確認された場合、クラブの参加資格が保留、あるいは取り消しとなる場合がある。
不正、偽造、会員情報の改ざん、重大な過失、また受益者の健康、福利、安全を脅かす行為、不適切な寄付、私益のための資金使用、利害対立の未開示、個人による補助金資金の独占、報告書の偽造、水増し行為、受益者からの金銭の受領、不法行為、認められていない目的での補助金資金使用。

E. クラブは、いかなる財務監査、補助金監査、業務監査にも協力しなければならない。
2. クラブ役員の責務

クラブ役員は、クラブの参加資格認定およびロータリー財団補助金の適切な使用について主要な責任を有する。

A. クラブのロータリー財団委員長は、すべての財団補助金に対して、資金管理の方策と適切な補助金管理の慣行に従って実施されるよう確認し、クラブの参加資格を維持・管理しなければならない。

B. クラブは、情報と関係書類が確実に保管されるよう、補助金の記録文書類の保管場所を定めなければならない。

C. クラブ会長エレクト、またはクラブが任命した代表者は、補助金管理と参加資格に関する地区主催の研修会に出席しなければならない。
3. 財務管理計画

クラブは、補助金の一貫した管理を行うために、書面で財務管理計画を作成しなければならない。財務管理計画には、以下の手続きが含まれていなければならない。

A. すべての領収書と補助金資金の支払いの記録を含め、標準的な会計基準に則って会計を維持する。
(地区指定様式 1「財務報告書」)

B. 必要に応じて、補助金の資金を支払う。

C. 資金の取り扱いは、複数の人で分担する。

D. 補助金で購入した備品・設備やその他の財産の目録システムを確立し、補助金関連活動のために購入したもの、作られたもの、配布されたものの記録を付ける。
(地区指定様式 2「補助金での購入品管理表」)

E. 資金の換金等を含む全補助金活動が、現地の法律や規制を遵守したものであることを確認する。
4. 銀行口座に関する要件

補助金資金を受け取るには、ロータリー財団の補助金資金の受領と支払いのみを目的とする口座をクラブが設けなければならない。

- A. クラブの銀行口座は以下を満たしていなければならない。
1. 資金の支払いには、クラブのロータリー財団委員長と幹事の 2 名が署名人となること。
(地区指定様式 3「資金引出し承認署名簿」)

2. 低金利または無金利の口座であること。
- B. 利子が生じた場合には、すべて書類に記録し、承認された補助金活動に使用するか、ロータリー財団に返還しなければならない。
- C. クラブが提唱する各補助金につき、別個の口座を開設し、口座名は、補助金用であることが明らかに分かるものとすべきである。
- D. 補助金は、投資用口座に預金してはならない。これには、投資信託、譲渡性預金、債権、株の口座が含まれる (ただし、これらに限られるものではない)。
- E. ロータリー財団補助金資金の受領および使用を裏付ける銀行明細書をいつでも提示できるようにしておかなければならない。
- F. 銀行口座名に係わる役員が交代した場合は、速やかに銀行口座名を変更すること。

5. 補助金資金の使用に関する報告

クラブは、「ロータリー財団 地区補助金とグローバル補助金 授与と受諾の条件」ならびに「地区補助金に関する地区申合せルールとプロジェクトの適合資格」にあるとおり、補助金資金の使用に関する報告を行わなければならない。

6. 書類の保管

クラブは、参加資格認定とロータリー財団補助金に関連する重要書類を保存するための、適切な記録管理システムをつくり、これを維持するものとする。これらの書類を保管することにより、補助金管理の透明性が保たれるとともに、監査や財務評価の準備に役立つ。

A. 地区指定の地区補助金報告書一式を保管する。

B. クラブの記録は、クラブのロータリアンが、または地区が要請した場合は地区が、閲覧、入手できるようにしなければならない。

C. 書類は、少なくとも 7 年間、もしくは国や地域の法律によってはそれ以上の期間、保管しなければならない。

7. 補助金の不正使用に関する報告

補助金資金の不正使用や不適切な管理があった場合、またはそう疑われる場合には、クラブはこれを地区に報告しなければならない。このような報告により、補助金資金の不正使用が絶対に許されないという環境をクラブ内に作り出すことができる。

8. 承認と同意

この覚書 (MOU) は、クラブと地区の間に交わされる同意書であり、補助金活動の適切な管理と財団補助金資金の適切な管理を行うための措置をクラブが取ることを認めるものである。この文書を承認することにより、クラブは、この覚書 (MOU) に記載されたすべての条件と要件に従うことに同意する。

_____ ロータリークラブを代表し、下記署名人は、2016-17 年度、この覚書 (MOU) に記載されたすべての条件と要件に従い、これらの要件に関してクラブの方針や手続きに変更や修正があった場合には、国際ロータリー第 2690 地区に通知することに同意する。
また、国際ロータリー、ロータリー財団、または国際ロータリー第 2690 地区に対し、補助金の支給金額を支払うこと以外に何の責任も負わせないことを誓約する。

2016 年 _____ 月 _____ 日

	クラブ会長	クラブ会長エレクト	クラブロータリー財団委員長
就任年度	2015-16	2015-16	2016-17
氏 名			
署 名			

④ ローターリー財団 地区補助金申請書

所要事項をご記入いただき、必要な場合は別紙をご使用ください。（□の箇所は該当箇所を「■」に塗りつぶしてください。）

プロジェクトの区分 ☐ 単独クラブ提唱プロジェクト ☐ 複数クラブでの提唱プロジェクト

※ 複数クラブ提唱プロジェクトの場合: 共同提唱クラブ名

1. クラブ名 ※ 複数クラブでの提唱プロジェクトの場合は、代表提唱クラブが記載

プロジェクト内容がわかる名称にしてください。

2. このプロジェクトのプロジェクト名等を記述して下さい。

プロジェクト名 :

プロジェクト対象 : ☐ 教育的 ☐ 人道的 ☐ 環境保全 ☐ 青少年育成指導 ☐ その他

受益者 :

※ 受益者関係の中にロータリー関係者が含まれている場合、参考として記載してください。（利害の対立の報告）
（例 ○○福祉施設の理事:○○RC ○○氏）

人数もわかる範囲で記載をお願いします。

受益者にロータリー関係者が含まれている場合は記載願います。

実施場所 :

主旨 :

住所もご記載ください

内 容 :

実施予定日 : 開始日 年 月 日 ~ 予定終了日 年 月 日

（2016 年 8 月 ~ 2017 年 1 月末の期間中での実施を推奨）

3. プロジェクトがどのように地域社会のニーズに応え、その地域や人々の福祉の向上に役立つかを記述してください。

地区ルール「ロータリアンが積極的に関与すること。また、会員が如何に関与（会員が汗を流すこと等）しているかが、明確に示せるようなプロジェクトとする」がございまして、
会員の方々のプロジェクトへの参加計画を具体的に教えてください。

4. プロジェクトにおける資金面以外のロータリアンの参加状況を記述してください。

※ 報告時には、活動中の様子を写した写真を添付してください。

例) 社会奉仕委員会が中心となって募集のリーフレットを作成し、クラブ会員で手分けをして地域の小学校へ案内配布し、参加者の募集を行います。講習、体験開催日には○○ロータリークラブ会員全員が参加し、参加者の誘導、実施後のアンケートの回収等に協力します。

申請書の受付No.です。申請後に No.をお伝えしますので記載してください。

申請No.

5. プロジェクト連絡担当者: 補助金プロジェクトの不備を無くし管理に当たる2名のロータリアンを記載してください。

連絡担当者名 クラブでの役職

住所

電話 FAX

電子メール

連絡担当者名

住所

電話

電子メール

直接問合せ可能な方を記入願います。

* 「問い合わせ先」として事務局をご希望の場合は

「※ 問合せは事務局 ○○ まで」と電子メール記入欄横に注釈を入れていただき、
「住所」「電話」「FAX」「電子メール」欄には、事務局の連絡先をご記入ください。

6. 本活動がロータリーの提唱プロジェクトであることをどのような方法で一般の人々に広報しますか？

新聞の広告あるいは、ロータリー徽章の展示というように具体的な例で説明してください。

例) プロジェクトの主催が○○ロータリークラブであることを明記した参加募集リーフレットを、市内各小学校に1500部配布します。また、報道各社（新聞、ケーブルテレビ等）に取材・報道の依頼を行います。実施時には、参加会員全員揃いでロータリー徽章の入ったタスキを掛けます。

7. 協力団体 : もしもプロジェクトに協力団体が関与する場合は、下記に協力団体名を記入し、活動にあたっての責任事項とプロジェクトにおいてどのようにロータリアンがその団体と協力し合うことになるかを明記した参加陳述書を添付願います。本申請書に署名することで、ロータリアン提唱者は同団体がプロジェクト国において登録され、定評があり、責任を持った団体として推奨し、またプロジェクト国の法律に従い活動していることを認証します。

※ 地区ロータリー財団委員会において、特に必要があると認められたプロジェクトを除き、ロータリー以外の団体が主体となって開始した活動は認められません。

協力団体の名称

8. 予算 : プロジェクト全体の、全ての項目を含む詳細かつ明確な予算を含めてください。

この予算の作成に当たって使用された証明書類（見積書等）を添付してください。

※ 報告時には、すべての支出項目に関して、領収書・支払証明書類をご提出ください。

地区補助金申請額 円 （プロジェクト予算の合計額 円）

は別紙プロジェクト予算書の通り

R 財団の審査期間を考慮して、
開始は8月～、終了は報告書提出
期限の1ヶ月前（1月末頃）まで
を目安に実施を計画してください。

本申請書に提出するプロジェクトに関する全ロータリークラブは、地区ロータリー財団委員会に対し、プロジェクトの活動内容に責任を持ち、報告する義務があります。申請者の署名は、提唱者がその責任を理解し、了承したことを確認することになります。また提唱者の署名は、その知る限りにおいて、本申請書の全ての記載事項が真実であり、正確であることを確認することになります。

【2016-17 年度地区ロータリー財団委員長】

第 2690 地区のロータリー財団委員長として、私は、本プロジェクトに、

財団活動資金(DDF)米貨 ドルを使用することを確認いたします。

氏名(ローマ字)

クラブの覚書に署名された日付を記入してください。

私たちは、 年 月 日に署名した「ロータリー財団 クラブの覚書(MOU)第2690地区 地区補助金用」を遵守し、ここに当クラブがクラブの活動として本プロジェクトを実施することを決定したことを確認いたします。

【クラブ名】 ロータリークラブ 日付 年 月 日

【2015-16 年度 クラブ会長】 氏名(ローマ字) 署名

【2015-16 年度 クラブ会長エレクト】 氏名(ローマ字) 署名

【2016-17 年度 クラブロータリー財団委員長】 氏名(ローマ字) 署名

申請No. _____

⑤ 【別紙】 プロジェクト予算書（2016-17 年度）

/ 「ロータリー財団 地区補助金申請書」添付書類

クラブ名 _____

プロジェクト名 _____

地区補助金について

プロジェクト実施に伴う地区補助金からの支出は、原則として予算計上された項目のみとさせていただきます。プロジェクト内容をご検討の上、予算計上していただきますようお願い申し上げます。なお、予算の変更が必要な場合は、プロジェクト実施前に地区 R 財団事務所へお知らせください。

1. プロジェクト予算（具体的にお書き

添じて行を追加してください）

・項目は具体的をお願いします。

『印刷費 参加者募集リーフレット作成費（1500 部）』等

・送金手数料も計上してください。支払は可能な限り
直接送金をお願いいたします。

見積書 No	支出の利用区分	
	地区補助金 (円)	その他資金 (円)
2.		
3.		
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		
小 計		
プロジェクト支出総額 (F) = (D) + (E)		

予算の対象となりません。

● 特定の受益者、団体、地域社会に対する継続的または過度の支援。

● 募金活動、現金寄付。

● 例会などのロータリー行事に関連する経費。

● 500 ドルを超える、プロジェクトの標識。

● 飲食費、並びにコンクール等での賞品、プレゼント類に係る費用

● プロジェクトに係る高額な広報・宣伝費

※ 予算の根拠となる見積書・価格表等を可能な限り添付、もしくは下記備考欄に記載願います。

※ 原稿料・講師料については見積書は不要です。ただし領収証は報告時にご提出が必要となりますので、
先方への事前のご連絡等、よろしくお願いします。

相見積の結果報告、利害の対立の報告、その他 予算金額の算出報告等を記載願います。

2. 備 考

※（利害の対立の報告）

取引業者にロータリー関係者が含まれる場合は、公平な取引であることを説明してください。

※1 件 5 千円未満の取引については、複数の業者への見積もり要請を省略することができます。

例)

・見積書 No. 1、2 については、それぞれ 2 社より見積を取り寄せ、安価の方を採用しました。(相見積添付)

・見積書 No. 3「印刷費」の発注先は、補助金申請クラブ内の〇〇会員の経営する「〇〇(株)」です。

〇〇会員は入会〇〇年目の信頼できる会員であり、また、物品単価・納期・業務依頼手続・本プロジェクトの理解度等、総合的に判断して取引は適正なものであると確認しています。

・見積書 No. 4「講師謝礼」、講師については現在協力団体と打合せ中であり、常識的な金額を計上いたしました。

・見積書 No. 5「講師交通費」については、JR ホームページより調べました。

2016-17年度

地区補助金プロジェクト適合資格チェックリスト

✓	チェック項目／内容	地区 ルール	財団 ルール
	①プロジェクトは、下記のどれに適合しているか？ （以下の項目に適合していない場合は、地区に事前に問い合わせてください） ・教育的 ・人道的 ・環境保全 ・青少年育成指導		○
	②特定の受益者、団体、地域社会に対する継続的または過度の支援ではない （前年と同じ内容の場合は、同じ受益者でないこと）		○
	③既に経費が発生した活動ではない		○
	④ロータリー以外の団体が主体となっていない（提唱クラブが主催者であること） ただし、地区ロータリー財団委員会において特に必要があると認められたプロジェクトは除く		○
	⑤「補助金参加者の利害の対立に関する方針」を遵守している （ロータリアンや関係者、クラブが受領者や受益者でないこと）		○
	⑥500ドルを超えるプロジェクトの標識が予算書に含まれていない		○
	⑦ロータリアンが積極的に関与すること （単なる寄付・寄贈などでなく、ロータリアンが汗を流す）	○	○
	⑧プロジェクトの予算書、報告書に以下の項目が含まれていない ・飲食費 ・賞品 ・プレゼント ・高額な広告宣伝費 ・奨学金	○	
	⑨補助金額は、プロジェクト費用総額の50%以下である 補助金額は、10万円以上、50万円以下になっている	○	
	⑩地区内実施のプロジェクトである	○	
	⑪プロジェクトの実施期間は、8月以降の開始、翌年1月末頃までの終了を推奨 決められた期日までに申請書や報告書などの提出ができる	○	

※上記の内容について、詳しくは以下の資料を参考にしてください。

1. ロータリー財団 地区補助金とグローバル補助金 授与と受託の条件（2015年7月）
2. 国際ロータリー第2690地区 2016-17年度 地区補助金に関する地区申合せルールとプロジェクトの適合資格

地区補助金申請書記載事項チェックリスト

✓	チェック項目／内容
	WHAT 何を実施するのか？ ・ロータリー財団の使命に合致する内容となっているか。 「健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済する」 ・ロータリアンが直接参加しているか。 ・物品寄贈のためのプロジェクトになっていないか。
	WHY なぜ、実施するのか？ ・どのような「地域社会のニーズの調査」に拠ったのか。
	WHEN いつ、実施するのか？ ・なぜその時期となったのか。
	WHERE どこで、実施するのか？ ・なぜその場所となったのか。
	WHO 誰が、実施するのか？ ・なぜその団体or人の協力を得るのか。
	HOW どのように、実施するのか？ ・プロジェクト終了後も地域の人々が自力でニーズに応えられるような支援となっているか。
	HOW MUCH いくらで、実施するのか？ ・契約方法は、適正か。 1 社見積：5000円以下又は相見積もりが採れない理由有り 2 社以上の見積：上記以外（ロータリー関係者であるかどうかにかかわらず）



編集 2015-16年度
国際ロータリー第2690地区
ガバナーエレクト事務所
TEL:0859-44-2690

制作 株式会社 カワバタ印刷
TEL:0859-45-6161